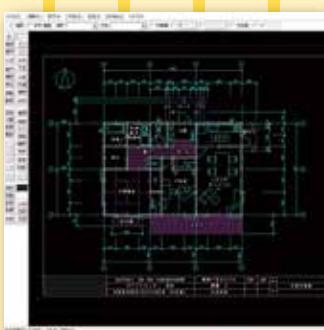


従業員のための 能力開発セミナー

令和8年度

令和8年4月▶令和9年3月

開発ガイド



従業員のスキルアップが企業を強くする!

目 次

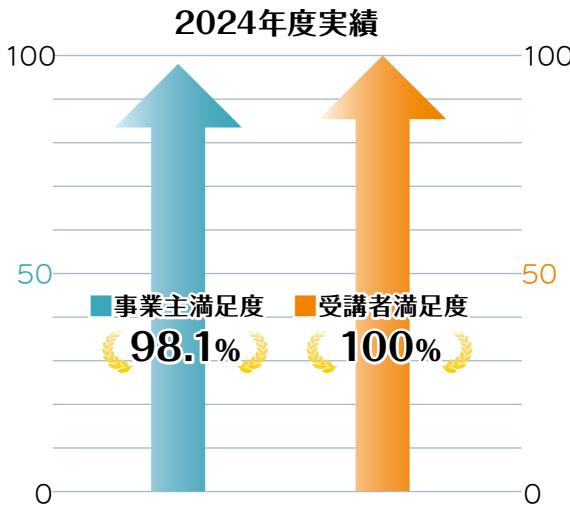
能力開発セミナーとは?	P 1
お申込み方法	P 2
よくあるご質問	P 3
オーダーメイドセミナー	P 4
ご利用いただけるその他のサービス	P 5
能力開発セミナー受講申込書	P 6
セミナー受講マップ	P 7
能力開発セミナーコース一覧	P10

コース案内

 	機械コース	P11
 	溶接コース	P20
 	建築コース	P22
 	電気・電子コース	P30
	生産性向上支援訓練のご案内	P35
	高度ポリテクセンターってどんなところ?	P37
	能力開発セミナー受講者変更・取消届	P38

能力開発セミナーとは?

中小企業等に在職中の方を対象に、ものづくり分野（機械、溶接、建築、電気）における技能・技術の向上を図ることを目的として実施している職業能力開発促進法に基づく職業訓練コースです。



セミナーを受講された方、事業主の皆様からは、受講後のアンケートにおいて、「大変役に立った」「役に立った」との高い評価をいただいているです。

セミナーを受講された企業の声

社内では、体系的なカリキュラムに基づいた教育はなかなかできないが、セミナーを受講することにより、体系化された知識と技能を効率良く習得できた。

セミナーを受講することにより、他の受講者から良い刺激を受けたり新しい知識を得たことで、本人のモチベーションが上がり、自発的な行動が増え仕事に積極的に取り組むようになった。

セミナーを受講して得た知識や情報を交換して、お互いにスキルアップを図っており、現場における社員同士のコミュニケーションや相互連携もうまくいくようになった。

1 訓練内容

- 機械／溶接（機械加工、機械保全、溶接など）
- 建築（建設設計、建築施工など）
- 電気（シーケンス（PLC）制御など）

2 実施場所

ポリテクセンター奈良（奈良職業能力開発促進センター）〒634-0033 奈良県橿原市城殿町433

3 訓練日数・訓練時間

- 能力開発セミナーの日数は、通常1コースあたり2～4日間です。
- 能力開発セミナーの開始・終了時間は、原則9:30～16:30です。

4 受講料金

7,000円～21,500円程度（教材費の関係で変更となる場合があります）

5 お申込み方法とお問合せ先

受講申込書（P6または当センターHPからダウンロード）の各事項にご記入の上、FAXまたは電子メールによりお申込みください。先着順にお申込みを受付けます。具体的な申込み方法はP2をご覧ください。なお、セミナーの内容等に関するお問合せは、電話で受付けます。

【郵送先】〒634-0033 奈良県橿原市城殿町433「ポリテクセンター奈良 セミナー担当」

FAX番号 0744-22-6744 (お問合せ先) **電話番号 0744-22-5226**

【E-mail】nara-poly02@jeed.go.jp

【ホームページ】<https://www3.jeed.go.jp/nara/poly/zaishoku/>

詳細はこちら



お申込み方法

お申込みは定員に達するまで先着順で受付けさせていただいております。お申込み時点での空席状況については、お電話でお問合せの上、開講日の21日前までにお申込みください。

STEP1

お申込み(コース開講日の21日前までに)

「受講申込書」をポリテクセンター奈良セミナー担当あてにFAX又は電子メールで送信してください。

※受講申込書はP6です。ホームページからもダウンロードできます。

奈良 ポリテク セミナー



STEP2

「請求書」「受講票」の送付

コース開講日前に「請求書」「受講票」をお送りします。

お申込みの内容にお間違いがないかご確認ください。



STEP3

受講料のお振込み(コース開講日の14日前までに)

開講日の14日前までに、受講料のお振込みをお願いします。

ただし、振込手数料はお振込み人の負担とさせていただきます。

振込先は請求書に記載していますのでご確認ください。

※現金受渡しのお取り扱いはしておりません。



COMPLETE

受講受付の完了

【ご留意事項】

- (1)セミナー当日は、受講票を必ずご持参ください。
 - (2)定員に対して、応募者が少ない場合は、コース日程を変更したりやむなく中止する場合があります。
 - (3)受講料には消費税を含んでおります。ただし、振込手数料は別途ご負担をお願いします。
 - (4)受講者の変更・取消をされる場合は、「受講者変更・取消届」(P38)をFAX又は電子メールで送信してください。
- なお、コース開講日の14日前(土日・祝日を含む)を過ぎてからのキャンセルは、受講料の全額をご負担いただきます。

アンケートのご協力について

全てのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査の回答をお願いしております。

お知らせ

令和8年度途中より、全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。詳しくは、ホームページ上でお知らせする予定です。

よくあるご質問

Q1 奈良県外からの申込みは可能ですか？

お申込み可能です。

Q2 訓練の受講に条件はありますか？

受講対象者を推奨しているコースもありますが、どなたでもお申込みいただけます。詳しくは、各コースの案内をご覧ください。

また、開講日の14日前までに受講料の振込みが必要です。

Q3 定員を超える数の従業員にセミナーを受講させることはできますか？

ご相談に応じて、オーダーメイドセミナーとして、別途設定させていただくことが可能です。

Q4 受講申込書に生年月日を入力する必要はありますか？

所定の要件を満たした方に発行する能力開発セミナーの修了証及び受講記録の管理のために必要となりますので、ご協力をお願いします。

Q5 申込んだ後で受講者の変更はできますか？

同一企業内での受講者の変更は可能です。「受講者変更・取消届(P38)」をFAX又は電子メールで送信してください。

Q6 既に支払った受講料を他のコースに振り替えることは可能ですか？

受講料を他コースへ振り替えることはできません。セミナー開講日の14日前までにキャンセルをお申し出いなければ、一旦返金いたします。改めて、他コースへのお申込みとお振込みをお願いします。

Q7 受講する際の服装について、指定がありますか？ また、作業服が必要な場合は、着替える場所はありますか？

受講するコースによっては、作業服等をご用意いただく場合があります。詳しくは、各コースのご案内に記載している持参品欄をご覧ください。

なお、作業服が必要な場合は、更衣室をご用意します。事前にご連絡ください。

Q8 受講した証明は何かありますか？

所定の要件を満たした方には、セミナー最終日に修了証を発行します。

Q9 修了証の発行要件はありますか？

修了証の発行には、出席時間が12時間以上かつ、計画時間数の80%以上の出席が必要となります。そのため、訓練時間が12時間の場合は、全時間の出席が必要となります。

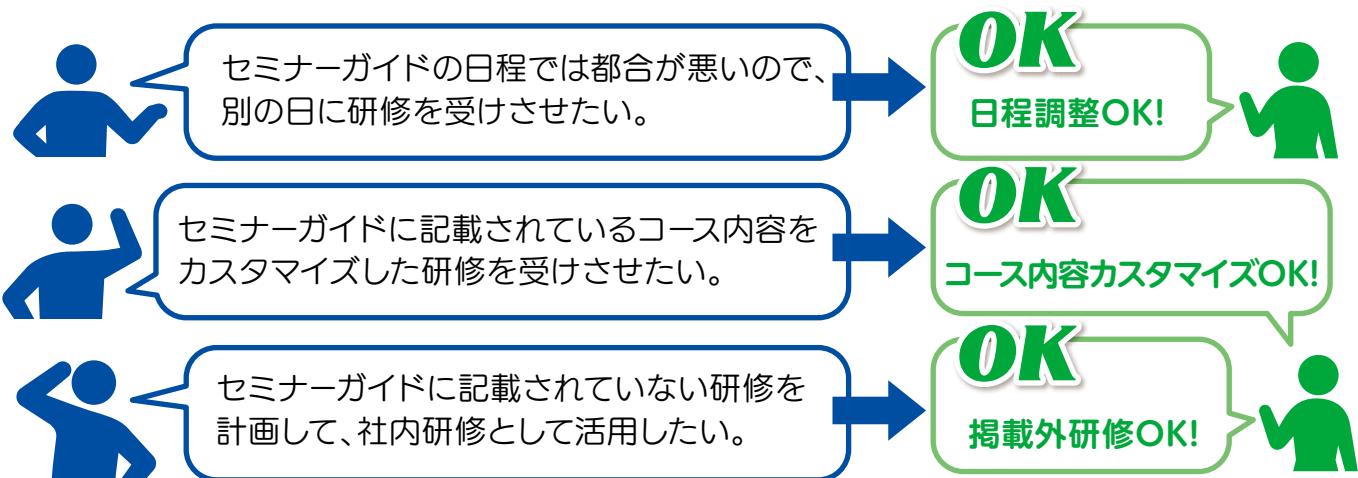
Q10 受講後に何か手続きはありますか？

受講者皆様にアンケートをお願いしております。また、会社の指示による受講の場合は、事業主の方にもアンケートをお願いしておりますので、ご協力をお願いします。

本誌に掲載されている以外のセミナーもご相談いただけます。

オーダーメイドセミナー

事業主の方の声



貴社のご要望にマッチしたセミナーを提案いたします!

対応分野

機械系(加工、溶接等)、電気系、建築系、生産管理系、業務改善、品質管理系 など

※訓練時間は12時間以上(6時間×2日間を基本)などの諸条件があります。

※受講料はP11以降の各コースの内容を参考にしてください。

※ご相談内容によっては対応できない場合があります。

能力開発セミナー活用事例

- ◎ ご利用企業 : 株式会社ジェイテクトサーモシステム
- ◎ 実施場所 : ポリテクセンター奈良
- ◎ 活用コース分野 : 機械、溶接、電気



2021(令和3)年度 TIG溶接技能クリニック

ご利用いただけるその他のサービス

1 施設利用のご案内

企業や事業主団体が、教育訓練等の人材育成を目的とした研修等の環境を必要とする場合に、当センターの教室をご利用いただけます。実習場、訓練用機器等のご利用を希望される場合は、当センターの指導員が指導する研修等に限りお使いいただけます。

ご利用を希望される場合には、事前にご相談の上、お申込みください。



※実習場、利用可能機器、利用料金等の詳細につきましては、別途お問合せください。
※訓練用機器の利用料は、機器の電気容量等をもとに定めた実費相当分をご負担いただきます。
※実習場、訓練用機器等のご利用にあたっては、安全確保のため当センター指導員の指導を条件としていますので、利用される方に講師料をご負担いただきます。

2 人材をお探しの事業主の方向けのサービス

ポリテクセンター奈良では、求職者の方向けに6か月間の職業訓練（機械、溶接、建築、電気）を実施しております。職業訓練を修了した方は、受講したコースの基礎的な技能・技術を身につけています。採用をお考えの際は、当センターの訓練生または修了生の採用を是非ご検討ください。

①企業への「訓練生情報」誌の送付

訓練コースの内容、訓練生の入所状況等を企業の人事担当者に紹介しています。年間を通じて発送していますので、発送を希望される場合はお電話にてお申込みください。

②企業からの求人の受付

訓練生及び修了生に対して、企業が公開する求人票の紹介を行っています。
ハローワークで登録された求人票を当センターあて送付していただきます。詳細はお電話にてお問合せください。

③企業説明会の開催

求人企業と訓練生との、ミスマッチの無い採用と就職の促進を目的に、企業説明会を開催しています。

④企業実習生（訓練受講者）の受け入れ事業所募集

訓練受講者を対象とした企業実習を受入れていただける事業所様を募集しております。
実習終了後は条件がマッチした場合、訓練修了者を採用していただく事業です。
・金属加工技術科デュアル ・電気設備技術科デュアル ・ものづくりエンジニア科デュアル

お問合せ先

ポリテクセンター奈良 訓練課 TEL 0744-22-5226

コース番号	コース名	開講日(初日)		月 日
受講者	ふりがな	-		〒 -
	氏名 (生年月日)	現住所 (西暦 年 月 日生)	□男 □女	※ 個人での自己受講の方のみご記入ください。
	就業状況(該当するいずれかに☑)		□正社員 □非正規雇用 □その他自営業等	※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
法人名	事業所名			
法人番号			法人番号がない場合は、以下の該当に☑ □団体 □個人事業主 □個人	
法人所在地	〒 -		申込担当者名	
TEL	- -		FAX	- -
MAIL				
業種	該当する1つに☑ □鉱業、採石業、砂利採取業 □電気・ガス・熱供給・水道業 □卸売業、小売業 □学術研究、専門・技術サービス業 □教育、学習支援業 □サービス業	□農業、林業 □建設業 □情報通信業 □金融業、保険業 □宿泊業、飲食サービス業 □医療、福祉 □公務	□漁業 □製造業 □運輸業、郵便業 □不動産業、物品販貸業 □生活関連サービス業、娯楽業 □複合サービス事業 □分類不能の産業	
企業規模	該当する1つに☑ □1~29 □30~99 □100~299 □300~499 □500~999 □1,000人以上			
受講区分	該当するいずれかに☑ 書類送付先に☑	□会社からの指示による受講 □個人での自己受講	□法人(会社)の所在地 □受講者の現住所	
※ 受講区分の「会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力ををお願いしております。				
訓練に関する経験・技能等				
※ 訓練を進めるまでの参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関する職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。(例:切削加工の作業に約5年間従事) (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談下さい。				

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナー・イ・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- 今後、当機構の能力開発セミナー・イ・イベント等の案内を希望しない場合は右欄にチェックを入れてください。□希望しない

申込先

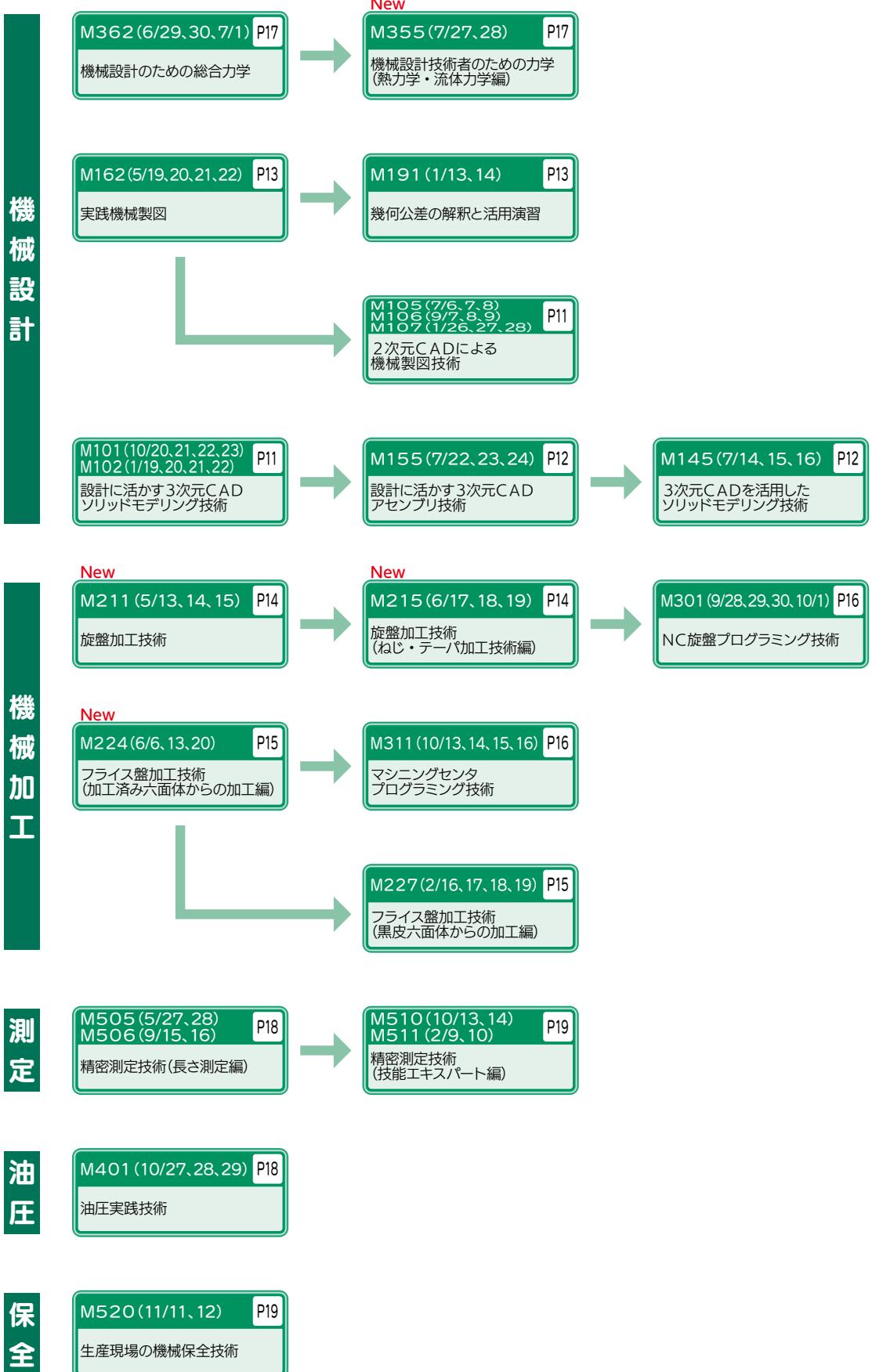
FAX (0744-22-6744) または電子メール (nara-poly02@jeed.go.jp) に添付

〒634-0033 奈良県橿原市城殿町433 電話0744-22-5226

※ 本紙が到着後、受講の可否について返信します。3業務日(平日)以内に返信がない場合は、お手数ですが電話にてお問い合わせをお願いします。(平日月~金 8時45分~17時)

セミナー受講マップ

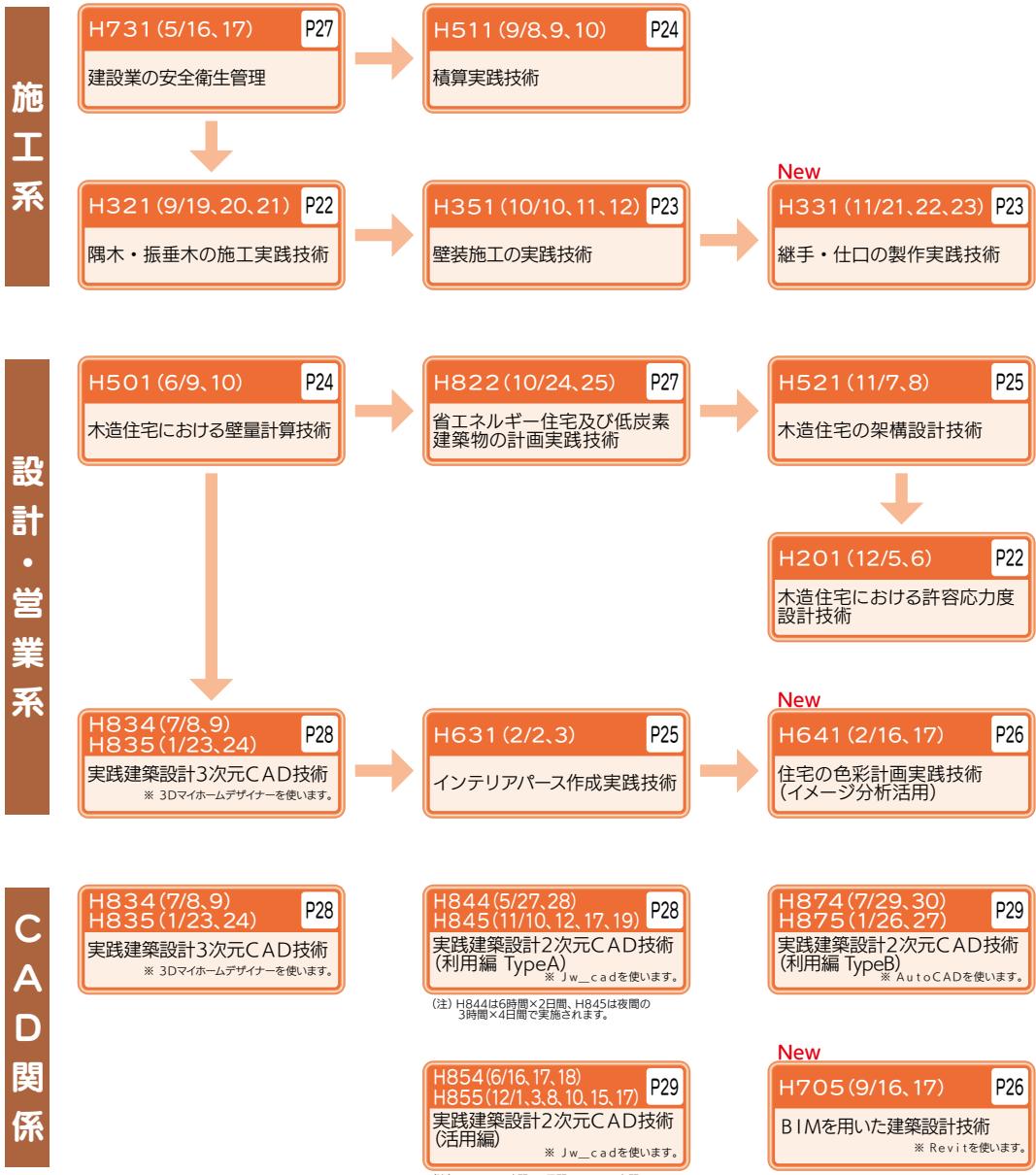
機械コース



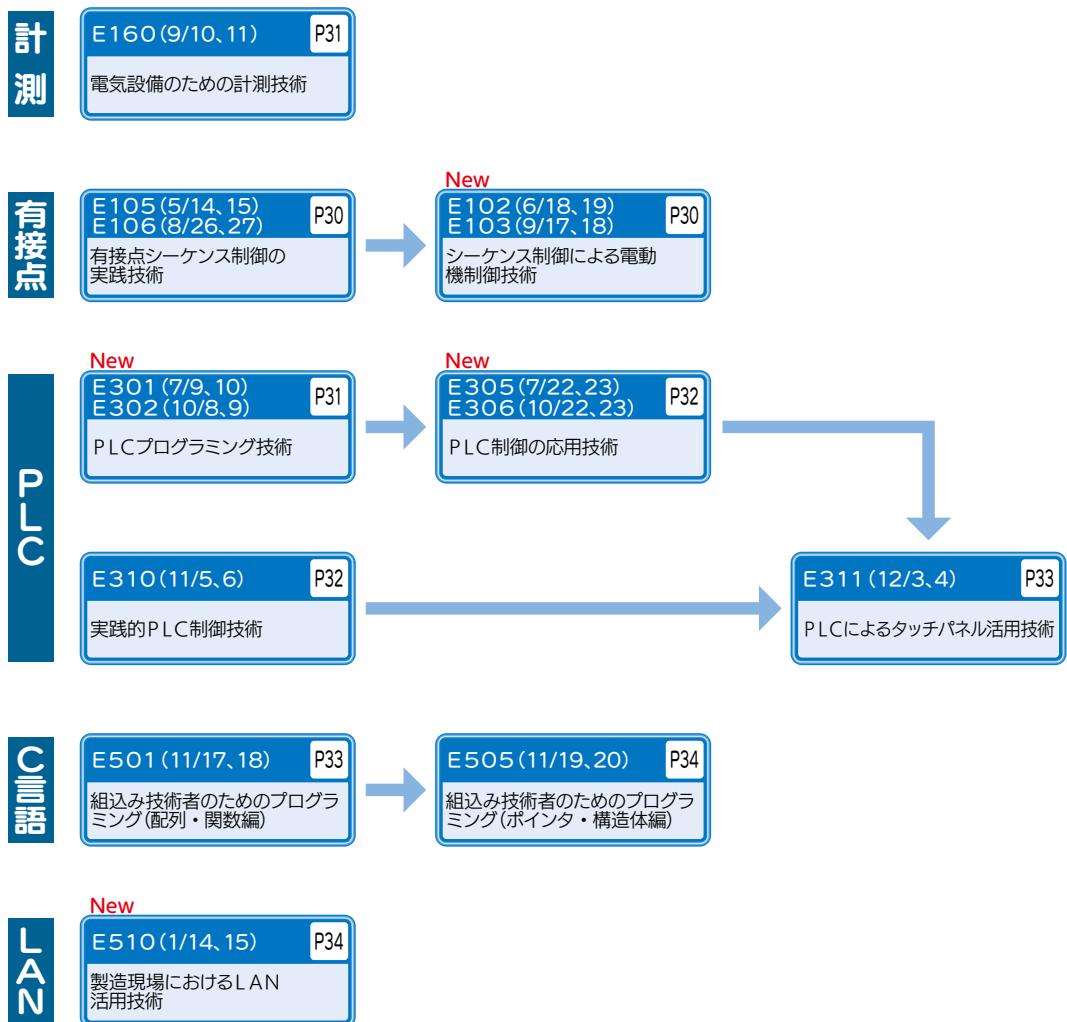
溶接コース



建築コース



セミナー受講マップ



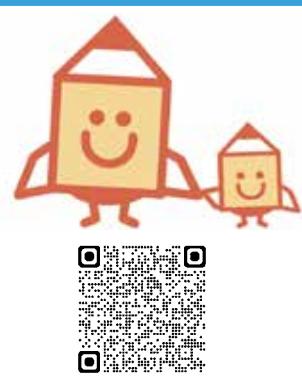
人材開発支援助成金のご案内

従業員に能力開発セミナー や生産性向上支援訓練を受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けられる場合があります。

ただし、受講前に所定の手続きが必要です。申請要件、申請書類、申請方法など詳しくは、厚生労働省のホームページをご確認いただくか、奈良労働局までお問い合わせください。

奈良労働局 助成金センター

TEL.0742-35-6336



○詳細は厚生労働省ホームページをご覧ください。

能力開発セミナーコース一覧

分野	コース名	受講料	定員	コース番号	日程	掲載ページ
機械	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	21,500	10	M101	10/20(火)、21(水)、22(木)、23(金)	P11
	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	21,500	10	M102	1/19(火)、20(水)、21(木)、22(金)	P11
	2次元CADによる機械製図技術	16,500	10	M105	7/6(月)、7(火)、8(水)	P11
	2次元CADによる機械製図技術	16,500	10	M106	9/7(月)、8(火)、9(水)	P11
	2次元CADによる機械製図技術	16,500	10	M107	1/26(火)、27(水)、28(木)	P11
	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	12,500	10	M145	7/14(火)、15(水)、16(木)	P12
	設計に活かす3次元CADアセンブリ技術	17,500	10	M155	7/22(水)、23(木)、24(金)	P12
	実践機械製図	16,000	10	M162	5/19(火)、20(水)、21(木)、22(金)	P13
	幾何公差の解釈と活用演習	8,000	10	M191	1/13(水)、14(木)	P13
	旋盤加工技術 New	15,500	10	M211	5/13(水)、14(木)、15(金)	P14
	旋盤加工技術(ねじ・テーパ加工技術編) New	15,500	10	M215	6/17(水)、18(木)、19(金)	P14
	フライス盤加工技術(加工済み六面体からの加工編) New	15,500	10	M224	6/6(土)、6/13(土)、6/20(土)	P15
	フライス盤加工技術(黒皮六面体からの加工編)	20,000	10	M227	2/16(火)、17(水)、18(木)、19(金)	P15
	NC旋盤プログラミング技術	18,000	10	M301	9/28(月)、29(火)、30(水)、10/1(木)	P16
	マシニングセンタプログラミング技術	17,500	10	M311	10/13(火)、14(水)、15(木)、16(金)	P16
	機械設計技術者のための力学(熱力学・流体力学編) New	10,000	10	M355	7/27(月)、28(火)	P17
	機械設計のための総合力学	11,500	10	M362	6/29(月)、30(火)、7/1(水)	P17
	油圧実践技術	11,500	10	M401	10/27(火)、28(水)、29(木)	P18
	精密測定技術(長さ測定編)	8,000	10	M505	5/27(水)、28(木)	P18
	精密測定技術(長さ測定編)	8,000	10	M506	9/15(火)、16(水)	P18
	精密測定技術(技能エキスパート編)	8,000	10	M510	10/13(火)、14(水)	P19
	精密測定技術(技能エキスパート編)	8,000	10	M511	2/9(火)、10(水)	P19
	生産現場の機械保全技術	8,000	10	M520	11/11(水)、12(木)	P19
溶接	被覆アーケ溶接技能クリニック	13,000	10	M920	9/12(土)、13(日)	P20
	半自動アーケ溶接技能クリニック	14,500	10	M931	6/6(土)、7(日)	P20
	半自動アーケ溶接技能クリニック	14,500	10	M932	10/3(土)、4(日)	P20
	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	15,000	10	M941	6/27(土)、28(日)	P21
	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	15,000	10	M942	11/14(土)、15(日)	P21
	木造住宅における許容応力度設計技術	11,500	10	H201	12/5(土)、6(日)	P22
	隅木・振垂木の施工実践技術	12,000	10	H321	9/19(土)、20(日)、21(月)	P22
	継手・仕口の製作実践技術 New	11,000	10	H331	11/21(土)、22(日)、23(月)	P23
	壁装施工の実践技術	15,000	10	H351	10/10(土)、11(日)、12(月)	P23
	木造住宅における壁量計算技術	7,500	10	H501	6/9(火)、10(水)	P24
建築	積算実践技術	10,500	10	H511	9/8(火)、9(水)、10(木)	P24
	木造住宅の架構設計技術	7,500	10	H521	11/7(土)、8(日)	P25
	インテリアパース作成実践技術	9,000	10	H631	2/2(火)、3(水)	P25
	住宅の色彩計画実践技術(イメージ分析活用) New	10,500	10	H641	2/16(火)、17(水)	P26
	BIMを用いた建築設計技術 New	11,000	10	H705	9/16(水)、17(木)	P26
	建設業の安全衛生管理	7,000	10	H731	5/16(土)、17(日)	P27
	省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術	8,000	10	H822	10/24(土)、25(日)	P27
	実践建築設計3次元CAD技術	7,500	10	H834	7/8(水)、9(木)	P28
	実践建築設計3次元CAD技術	7,500	10	H835	1/23(土)、24(日)	P28
	実践建築設計2次元CAD技術(利用編 TypeA)	7,500	10	H844	5/27(水)、28(木)	P28
	実践建築設計2次元CAD技術(利用編 TypeA)	7,500	10	H845	11/10(火)、12(木)、17(火)、19(木)	P28
	実践建築設計2次元CAD技術(活用編)	11,000	10	H854	6/16(火)、17(水)、18(木)	P29
	実践建築設計2次元CAD技術(活用編)	11,000	10	H855	12/1(火)、3(木)、8(火)、10(木)、15(火)、17(木)	P29
	実践建築設計2次元CAD技術(利用編 TypeB)	7,500	10	H874	7/29(水)、30(木)	P29
	実践建築設計2次元CAD技術(利用編 TypeB)	7,500	10	H875	1/26(火)、27(水)	P29
電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	10,000	10	E105	5/14(木)、15(金)	P30
	有接点シーケンス制御の実践技術	10,000	10	E106	8/26(水)、27(木)	P30
	シーケンス制御による電動機制御技術 New	10,000	10	E102	6/18(木)、19(金)	P30
	シーケンス制御による電動機制御技術 New	10,000	10	E103	9/17(木)、18(金)	P30
	電気設備のための計測技術	8,000	10	E160	9/10(木)、11(金)	P31
	PLCプログラミング技術 New	10,000	10	E301	7/9(木)、10(金)	P31
	PLCプログラミング技術 New	10,000	10	E302	10/8(木)、9(金)	P31
	PLC制御の応用技術 New	10,000	10	E305	7/22(水)、23(木)	P32
	PLC制御の応用技術 New	10,000	10	E306	10/22(木)、23(金)	P32
	実践的PLC制御技術	10,500	10	E310	11/5(木)、6(金)	P32
	PLCによるタッチパネル活用技術	10,500	10	E311	12/3(木)、4(金)	P33
	組込み技術者のためのプログラミング(配列・関数編)	10,500	10	E501	11/17(火)、18(水)	P33
	組込み技術者のためのプログラミング(ポインタ・構造体編)	10,500	10	E505	11/19(木)、20(金)	P34
	製造現場におけるLAN活用技術 New	10,500	10	E510	1/14(木)、15(金)	P34

※日程など、予告なく変更する場合があります。

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

3次元CADを使用されている方、または使用を検討されている方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M101	10/20(火)・21(水)・22(木)・23(金)	9:30～ 16:30	4日間	24時間	10名	21,500円
M102	1/19(火)・20(水)・21(木)・22(金)					
コース概要		持参品	筆記用具			

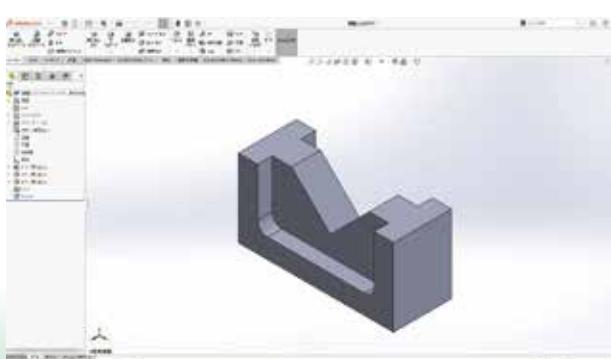
製品設計業務における効率的な設計作業と設計の高付加価値化と生産性の向上をめざして、「製品(部品)機能=フィーチャー」と捉えた活用方法、組立設計と図面の活用および設計検討項目の検証方法を習得します。

受講者の声

- 3Dプリンタで作るためにCADで図面を描いているが、自分で勉強して行って、我流だったので非常に役立った。
- ペン容器の設計を自分自身でできるようになることにつながる。
- 2DCADにはない考え方方が身についた。
- 3DCADを用いて、1人で部品設計の業務をできるようになった。
- 使い方があまり分からずにいたので、基本から応用までスキルを身につけることができた。
- CAD講習にて基本的な使い方、機能を知ることができ大変役立った。

カリキュラム

- ①設計とは
- ②モデリング3カ条
- ③設計変更を考慮したモデリング
- ④アセンブリ
- ⑤図面作成



使用機器

SolidWorksによるソリッドモデリングの事例▶

パソコン、3次元CAD/CAEシステム、関数電卓

※SolidWorksはダッソーシステムズ(株)の登録商標です。

2次元CADによる機械製図技術

2次元CADを使用されている方、または使用を検討されている方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M105	7/6(月)・7(火)・8(水)	9:00～ 16:45	3日間	21時間	10名	16,500円
M106	9/7(月)・8(火)・9(水)					
M107	1/26(火)・27(水)・28(木)	持参品	筆記用具			

コース概要

機械設計における2次元CADの効率的な活用と、これによる生産性の向上をめざして、使用環境の構築、および効率的作業法を習得します。

受講者の声

- 終始ていねいな解説で大変良かった。
- 今まで、CADを使用した事が無かったので身につきました。全くの初心者で1から学ぶ事ができました。
- わからない事から始めてるので、大変わかりやすかったです。初心者としては助かったです。
- 初めてAutoCADを使ったが、使いやすく技術が身についた。
- 基本的な操作方法を理解することができた。丁寧な指導でとても良かったです。

カリキュラム

- ①2次元CADの概要とデータ管理について
- ②設計・製図作業効率化のためのポイント
 - (1) 画層設定とテンプレートの管理
 - (2) 2次元CADの操作法(作図機能、編集機能、応用作図機能)
 - (3) 3次元CADの効率的活用法(ブロック機能、他)
- ③課題実習



使用機器

AutoCADを用いた機械製図の様子▶

パソコン、2次元CADシステム(AutoCAD)

※AutoCADはオートデスク(株)の登録商標です。

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術

3次元CAD(SolidWorks)を用いて、モデル化・図面化の流れを習得したい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M145	7/14(火)・15(水)・16(木)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	12,500円
コース概要		持参品	筆記用具			

3次元CAD(SolidWorks)を用いて、モデル化・図面化の流れを習得します。課題として『機械プラント製図(2級)』の過去問を用います。

受講者の声

- 業務上、3DCADの使用が必須となり、その点で技術が身についた。
- 自己流で作図していた部分の修正点に気付けた。
- 仕事では製図作業を2D、3Dで別々のソフトで行っていたが、今回の講義の技術を利用することにより、より早く作業を行うことができる。分かりやすい講義をありがとうございました。
- ソリッドワークスの操作方法が理解できた。CATIAとの違いが大変よくわかりました。
- Solid Worksの使い方や図面作成の理解が深まった。

使用機器

パソコン、3次元CADシステム(SolidWorks)

※SolidWorksはダッソーシステムズ(株)の登録商標です。

カリキュラム

- ①課題図部品形状の理解
- ④図面シートフォーマット作成
- ②部品寸法の確認
- ⑤投影図の配置確認
- ③部品モデリング
- ⑥図面作成補助機能を利用して図面完成



設計に活かす3次元CADアセンブリ技術

『設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術』(M101・M102)を受講された方、または3次元CAD(SolidWorks)を使用されている方

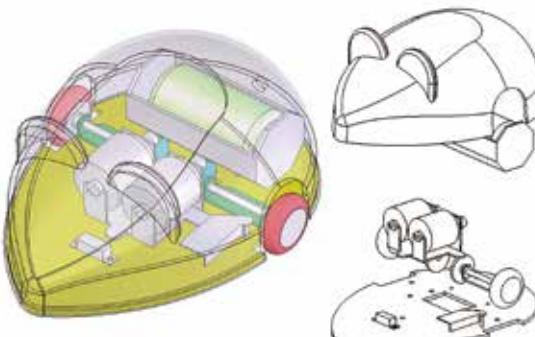
コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M155	7/22(水)・23(木)・24(金)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	17,500円
コース概要		持参品	筆記用具			

コース概要

製品設計業務における効率的な設計作業と設計の高付加価値化と生産性の向上をめざして、「製品(部品)機能＝フィーチャー」と捉えた活用方法、組立設計と図面の活用および設計検討項目の検証方法を習得します。

カリキュラム

- ①設計とは
- ②アセンブリを利用した製品設計
- ③設計検証実習
- ④構想設計実習(アイディア、構想図、樹形図等)
- ⑤設計変更実習



受講者の声

- アセンブリに関しては独学であったため、間違って使っていた箇所に気付けた。
- 3D設計の手法について、新たな学びになった。
- 他の3DCADを使用しており、Solid Worksを体験してみたく申し込みさせていただきました。
- より詳しくアセンブリの事がわかりました。
- ソリッドワークスのより詳しい使い方が知れて業務がやりやすくなった。
- アセンブリの組み立て時に基準平面を用いることで、設計変更時のエラーの解消につながることが知れてよかったです。

使用機器

実習課題「アセンブリ組立て」▶

パソコン、3次元CADシステム(SolidWorks)

※SolidWorksはダッソーシステムズ(株)の登録商標です。

コース案内

機械

溶接

建築

電気

実践機械製図

機械製図の知識を習得したい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M162	5/19(火)・20(水)・21(木)・22(金)	9:30～16:30	4日間	24時間	10名	16,000円

コース概要

機械設計／機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

受講者の声

- 課題が山積しているので解決に向けて前進できた。
- 知っている知識が少なかったですが、受講してからは仕事での理解度が上がった。
- 機械製図の基本のトレーニングがしたかったので、期待通りでした。
- 今まであやふやだったことをしっかり学べました。1つ1つとも丁寧にありがとうございました。
- 工場で習った事がより理解が深まった。
- 業務で図面は必需品なので、その知識を身につけられた。

使用機器

講義の一場面「断面図」▶

製図機器、製図用具一式

持参品

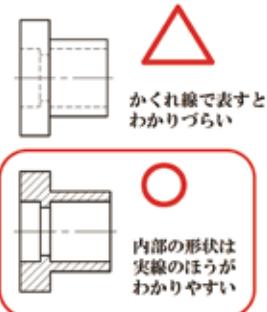
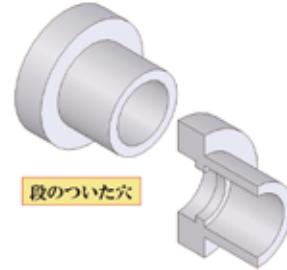
作業帽(実習場見学用)

カリキュラム

- | | |
|---------|------------|
| ①コース概要 | ④寸法公差・幾何公差 |
| ②図形の表し方 | ⑤表面性状 |
| ③寸法記入 | ⑥課題演習 |

断面図

- 内部の形状を詳しく表す



幾何公差の解釈と活用演習

幾何公差の知識を習得したい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M191	1/13(水)・14(木)	9:30～16:30	2日間	12時間	10名	8,000円

コース概要

持参品

筆記用具

カリキュラム

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ①バラツキとは | ③機械加工と幾何公差 |
| ②データム、幾何特性と幾何公差、幾何公差の解釈と活用方法 | ④主要な幾何公差の検証実習 |

機械設計・機械製図の生産性の向上を目指し、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた機械設計における幾何公差の測定実習を通して、最新JIS規格に即した幾何公差の正しい解釈及び活用技術、測定技術を習得します。

受講者の声

- 業務でひんぱんに幾何公差を使わないので忘れてしまっていたが、思い出すことができた。
- 今年から設計業務を始めているが、図面を読むにあたって必要な知識や考えを学べました。
- 今日の内容を基に社内にある図面のミス等にも気付けるようになるとと思いました。
- ボーナス交差など、あまりなじみがなかったものも、教えて頂けた。
- 幾何公差について、基礎から丁寧に教えて頂き、幾何公差への理解を深め、苦手意識を失くすことができました。
- 学生時代にも幾何公差について触れたこともあるが、そこから実業務であまり使わなかったため忘れていた。今回の講習で実際に書くまでのレベルではなくとも、読むことができるレベルには知識が身に付いた。

使用機器

幾何公差の解釈と活用演習▶

製図機器、製図用具一式

カリキュラム

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ①バラツキとは | ③機械加工と幾何公差 |
| ②データム、幾何特性と幾何公差、幾何公差の解釈と活用方法 | ④主要な幾何公差の検証実習 |

幾何公差の利用例

(参考)穴位置における寸法公差と幾何公差(位置度)の許容範囲の違い

・寸法公差における矩形公差域

・幾何公差(位置度)における円筒公差域

・幾何公差(位置度)における円筒公

旋盤加工技術

NEW

機械加工工作業に従事する方、ノギスおよびマイクロメータによる測定ができる方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M211	5/13(水)・14(木)・15(金)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	15,500円
コース概要		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓（貸出可）			

汎用旋盤加工における切削理論から各種加工方法及び工程（端面切削、外径切削、内径切削）について、加工実習を通して旋盤作業に必要な技能・技術を習得します。

受講者の声

- 旋盤を初めて触って、色々技術がつきました。
- 自分のやり方と違い、効率的な作業の進め方を学べました。
- 会社での応用作業で、基本が知らなかつたので、知ることが出来たのでよかったです。
- 自分で加工する事で時間短縮でき、スキルを増やす事が出来た。
- 3日間という限られた時間の中でテンポ良く進めていただきとても良かった。

使用機器

普通旋盤(DMG MORI LEO 80A)▶

普通旋盤（三つ爪チャック）、各種切削工具、各種測定機器、表面粗さ測定機、関数電卓

カリキュラム

- | | |
|----------|---------------|
| ①汎用旋盤の概要 | ④精密加工実習 |
| ②切削加工概論 | ⑤仕上げ面精度の確認・評価 |
| ③外径・内径加工 | |



旋盤加工技術（ねじ・テーパ加工技術編）

NEW

「旋盤加工技術」(M211)を受講された方、または同等程度の知識をお持ちの方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M215	6/17(水)・18(木)・19(金)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	15,500円
コース概要		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓（貸出可）			

旋盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的な旋盤作業（外径切削、ねじ切削、溝切削、テーパ切削）に関する能力を習得します。

カリキュラム

- | | |
|---------|---------------|
| ①切削加工概論 | ④テーパ加工 |
| ②芯だし作業 | ⑤精密加工実習 |
| ③ねじ・溝加工 | ⑥仕上げ面精度の確認・評価 |



使用機器

普通旋盤(DMG MORI LEO 80A)▶

普通旋盤（四つ爪チャック）、各種切削工具、各種測定機器、表面粗さ測定機、関数電卓

コース案内

機械

溶接

建築

電気

フライス盤加工技術 (加工済み六面体からの加工編)

NEW

機械加工作業に従事する方、ノギスおよびマイクロメータによる測定ができる方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M224	6/6(土)・13(土)・20(土)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	15,500円

コース概要

部品加工や治工具製作におけるフライス盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的なフライス盤作業に関する問題解決能力を習得します。

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓（貸出可）

カリキュラム

- ①切削加工概論
- ②高精度部品の加工工程
- ③精密加工実習（正面フライスによる六面体加工・エンドミルによる直溝・勾配溝加工と嵌合させ）
- ④製品評価



使用機器

立形フライス盤、各種切削工具、各種測定機器、表面粗さ測定機

フライス盤加工技術 (黒皮六面体からの加工編)

機械加工作業に従事する方、ノギスおよびマイクロメータによる測定ができる方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M227	2/16(火)・17(水)・18(木)・19(金)	9:30～ 16:30	4日間	24時間	10名	20,000円

コース概要

部品加工や治工具製作におけるフライス盤作業の技能高度化をめざして、加工方法の検討や段取り等を通して、実践的なフライス盤作業に関する問題解決能力を習得します。

※令和7年度実施「フライス盤加工技術 (M221)」と同内容のコースです。

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓（貸出可）

カリキュラム

- ①切削加工概論
- ②高精度部品の加工工程
- ③精密加工実習（正面フライスによる六面体加工・エンドミルによる直溝・勾配溝加工と嵌合させ）
- ④製品評価



受講者の声

※旧「フライス盤加工技術」の受講者の声

- 技術面が身に付くことで今後の業務の幅が広がる。

立形フライス盤(IWASHITA 2VB)▶

使用機器

立形フライス盤、各種切削工具、各種測定機器、表面粗さ測定機

NC旋盤プログラミング技術

機械加工作業に従事する方、NC旋盤のプログラミングについて学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M301	9/28(月)・29(火)・30(水)・10/1(木)	9:30～ 16:30	4日間	24時間	10名	18,000円
コース概要		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、関数電卓（貸出可）			

NC機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化(改善)に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などNC旋盤作業に関する技術を習得します。

カリキュラム

- ①概要
- ②各種機能とプログラム作成方法
- ③プログラミング課題実習
- ④加工の検証と評価



受講者の声

- 今後のことを考え、基礎知識を学びたかった為、役に立った。
- ていねいに教えてもらうことで、頭の中で整理することができた。
- わかりやすい教材を元に、わかりやすく教えてもらいました。
- これまでプログラムを見ても分からなかったが、セミナー受けた後だと何をしているのか分かるようになった。

使用機器

NC旋盤 (TAKISAWA TCN-2000CML6) ▶

NC旋盤、パソコン、各種切削工具、各種測定機器

マシニングセンタプログラミング技術

機械加工作業に従事する方、マシニングセンタのプログラミングについて学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M311	10/13(火)・14(水)・15(木)・16(金)	9:30～ 16:30	4日間	24時間	10名	17,500円

コース概要

NC機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化(改善)に向けたプログラミング課題実習と加工・検証実習を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得します。

カリキュラム

- ①概要
- ②各種機能とプログラム作成方法
- ③プログラミング課題実習(平面加工・輪郭加工・ポケット加工・穴あけ加工・ボーリング加工)
- ④加工の検証と評価



受講者の声

- 新たな知識を覚えるきっかけになった。先生の教え方がすごく分かりやすかったです。
- 理論があるのでわかりやすくなった。
- 知りたかった学習内容が含まれていた。
- 覚えたいと思っていたプログラム等の知識を学ぶことができた。
- マシニング技術の修得が出来た。
- プログラムの加工が理解できた。

使用機器

マシニングセンタ(MAZAK FJV200-II) ▶

マシニングセンタ、パソコン、各種切削工具、各種測定機器

コース案内

機械

溶接

建築

電気

NEW

機械設計技術者のための力学(熱力学・流体力学編)

熱工学、流体工学を学びたい方 機械設計技術者3級程度の能力を身に着けたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M355	7/27(月)・28(火)	9:00～ 17:00	2日間	14時間	10名	10,000円

コース概要

機器の熱対策や適性な流路設計など、流体工学に基づく製品開発のための、熱力学・流体工学の知識を習得します。

持参品 筆記用具、関数電卓(貸出可)

カリキュラム

熱工学

- ①熱・流体で扱う物理量の単位の知識
- ②エンタルピーとエントロピーの概念
- ③熱機関のサイクルと効率、冷凍サイクル
- ④伝熱工学の基礎

流体工学

- ①流体の性質
- ②流れの基礎(レイノルズ数、乱流、層流)
- ③ベルヌーイの定理の応用
- ④粘性流体の流れと圧力損失
- ⑤流体機械(ポンプ・水車の基礎)

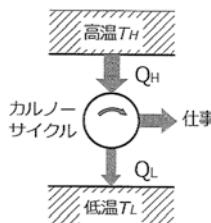
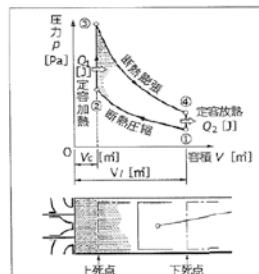


図 カルノーサイクルと逆カルノーサイクルのモデル図



使用機器

関数電卓

機械設計のための総合力学

力学を学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M362	6/29(月)・30(火)・7/1(水)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	11,500円

コース概要

機械の力学や材料力学、また機械要素設計(ねじ・軸・軸受・歯車)など、詳細設計に必要な力学全般を習得することにより、設計力向上を目指します。また、単に計算式を扱うのではなくその意味を理解することにより、問題解決力を養います。

カリキュラム

- ①機械の力学
- ②材料の静的強度設計
- ③機械要素設計(ねじ、軸、軸受、歯車)
- ④機械設計練習課題

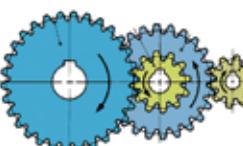
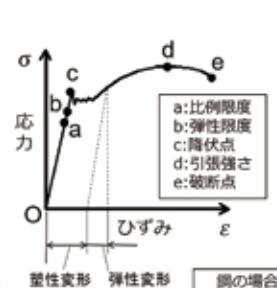
受講者の声

- 計算は難しかったが強度計算する時の力の向きなどとても参考になった。
- 基礎知識がないのでとても難しく感じましたが、とても丁寧に説明していただき、今後の力学のきっかけになりました。
- 感覚的・経験的理験が理論とつながって、より深まった。
- 自分自身での設計・計画に役立てる事ができる。
- 普段使用している公式を細かく説明していただき、深く知る事が出来ました。
- テキストの例題も実務に流用可能であり、あとで見直しても分かりやすいと思います。

使用機器

関数電卓

実習課題「応力-ひずみ線図」▶



油圧実践技術

油圧の装置に携わってる方、これから携わる方、管理者の方など

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M401	10/27(火)・28(水)・29(木)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	11,500円
コース概要		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、関数電卓（貸出可）			

油圧装置において、回路図の基本的な見方・書き方を学び、油圧ポンプの種類や構造・各種圧力調整弁や方向制御弁、流量制御弁の構造・取り扱いを学びます。また、基本回路について組立実習を行い、油圧装置の基本を基礎から学びます。

受講者の声

- 図面を見ながら実際に回路を組めた事で、理解が深まった。
- 空圧に関わった事があるが、無知で行ったので、その時に理解が深まった。
- 実習を通じて理解しやすく、もっと実習しても良いと思った。
- 知識を学び、同僚や後輩と共有できる。



▲油圧装置の仕組み (出典 https://www.hyd.daikin.co.jp/seminar/seminar_01)



▲油圧実習装置

精密測定技術 (長さ測定編)

機械加工作業及び測定・検査業務に従事する方、測定について学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M505	5/27(水)・28(木)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	8,000円
M506	9/15(火)・16(水)	持参品	筆記用具			

コース概要

機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を習得します。

受講者の声

- 受入検査に活かすことができる。教えていただいたことを業務に活用し、検査に自信を持ちたい。
- ふだん使わない測定機にふれることができた。
- 正しい使用方法を習った事がなかった為、資料含め指導用に使えると思った。
- 正確な作業ができるようになる。
- マイクロメータを数日使用しない場合、そのまま何もしないで置いていたが、必要な対応があることが分かった。
- 製品仕上がりのバラツキや組付け時のバラツキ確認の視野が広がる。

使用機器

ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤

カリキュラム

- ①測定・検査の概論
- ②各種測定器の原理と測定方法
- ③測定誤差について
- ④間接測定
- ⑤長さ測定実習
(マイクロメータ、デジタルマイクロメータ、ノギス、ハイゲージ、てこ式ダイヤルゲージ)



マイクロメータを用いた精密測定▶

コース案内

機械

溶接

建築

電気

精密測定技術（技能工キスパート編）

機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者「精密測定技術（長さ測定編）」を受講された方、または同等の知識・経験をお持ちの方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M510	10/13(火)・14(水)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	8,000円
M511	2/9(火)・10(水)					
コース概要		持参品	筆記用具、作業服（上着）、関数電卓（貸出可）			

機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を、技能検定課題を例に作業時間等の分析を通じて習得します。

課題：技能検定（機械検査）2・3級相当

受講者の声

- 会社内でない計測器の使い方を知ることで、必要な場面が出た時に提案し、必要であれば業務に取り入れることも検討できる。
- 小数第3位までの数の測定の難しさやノギスでの知識も深まりました。
- 検定に向けてのクセ・気づき・コツコツ等を知れた。
- 日常の中では、検定に向けて専念（集中）して勉強・練習が難しいので、今回良い機会になった。
- 機械検査検定の実技にフォーカスしたセミナーだった。

使用機器

各種測定器と補助具

カリキュラム

- ①コース概要及び技能検定概要
- ②実技課題について
 - (1)マイクロメータ等を使用した寸法測定
 - (2)歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定
 - (3)三針法によるねじプラグゲージの有効径測定
 - (4)外側マイクロメータの性能判定（器差及び平行度測定）
- ③測定手順の確認
- ④課題実習による検証と対策



◀実習課題「寸法測定」

生産現場の機械保全技術

機械保全について学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M520	11/11(水)・12(木)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	8,000円

コース概要

持参品

筆記用具、作業服、関数電卓（貸出可）

カリキュラム

- ①コース概要
- ②機械の主要構成要素
 - (1)機械保全について
 - (2)機械の構成要素
- ③機械要素の保全実習
 - (1)伝動装置の保全実習
(Vベルト点検ポイントと張り調整実習、チェーン)
 - (2)締結部品の保全実習（ねじのトラブル原因と診断および保全実習）
 - (3)油圧回路（各種油圧ポンプの分解組み立て実習）
- ④現場保全の問題解決
- ⑤まとめ

受講者の声

- 今まで、適当、感覚で行っていた作業が見直された。
- 普段の業務に直結する事で、詳しい話が聞けて良かった。
- 基礎的な事から順よく学べてわかりやすく、業務に活かせる。
- 細かな部品類（ねじ、ペアリングなど）の取扱いや知識を深める事が出来た事は非常に良かった。
- 基本的な部品の知識や工具類の取扱いなどを学びたかったので、それらの事が学べた事は非常に自分のためになった。
- 色々なペアリングやボルトの意味がわかった。

使用機器

トルクレンチ、伝動実習装置

生産現場の機械保全技術▶



被覆アーク溶接技能クリニック

被覆アーク溶接を学びたい作業者や管理者など

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M920	9/12(土)・13(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	13,000円

コース概要

被覆アーク溶接作業で必要とされる、各種姿勢によるすみ肉溶接や突合せ溶接を行い、溶融池の制御のための運棒や電流、速度などの各種条件を理解し、実践的技能及び作業要領を習得することを目標とします。

受講者の声

- 正しい知識が身についたため、良い悪いが分かるようになった。今までとは違う視点で溶接が出来るようになった。
- 溶接の深い知識に触れることが出来ました。
- 原理を知る事で、どうすれば適正な作業が出来るかを理解する事が出来ました。
- 今まで溶接作業を外部に依頼しており、今回のセミナーにより、自分たちでこの作業ができるようになったから。
- 溶接を体験したのは初めてだったので、非常に興味深く、また自分でできることが増えたので、今後に活かすことができると思います。
- 圧力容器製作実習を通して、被覆アーク溶接の施工方法について理解を深め、技能を向上させることができた。

使用機器

交流アーク溶接機 (ダイヘン BP300)

被覆アーク溶接実習の様子▶

持参品
筆記用具、作業服、作業帽、安全靴
※使い慣れた溶接面などあれば持参下さい。

カリキュラム

- 被覆アーク溶接の実用知識
- 溶接欠陥の種類と注意点
- 各種姿勢の溶接
- 溶接欠陥の発生原因と防止策



半自動アーク溶接技能クリニック

半自動アーク溶接を学びたい作業者や管理者など

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M931	6/6(土)・7(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	14,500円
M932	10/3(土)・4(日)					

コース概要

半自動炭酸ガスアーク溶接施工で必要とされる各種姿勢によるすみ肉溶接や突合せ溶接作業の技能の習得をめざして、溶融池の制御や電流、電圧、速度などの各種溶接条件についての理解を深め、課題実習を通してそれぞれの施工時における問題点を把握し、実践的技能及び作業要領を習得することを目標とします。

受講者の声

- 溶接スピードが速い方が溶け込みが深いと知って（音に注目することも）、気をつけるべき点が増えてよかったです。
- さらに溶接するのが楽しくなりました。苦手なところも、だいぶ克服できました。
- 私自身知識はあったんですが、講師の御説明でそれ以上の事が分かりました。
- 今まで知らなかった事が多く、色々専門用語が機械についても、すごく勉強になりました。

使用機器

炭酸ガスアーク溶接機 (ダイヘン DM-350Ⅲ)

半自動アーク溶接実習の様子▶

持参品
筆記用具、作業服、作業帽、安全靴
※使い慣れた溶接面などあれば持参下さい。

カリキュラム

- マグ溶接の実用知識
- 溶接欠陥の種類と注意点
- 各種姿勢の溶接
- 溶接欠陥の発生原因と防止策



コース案内

機械

溶接

建築

電気

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック

ステンレスのTIG溶接(アルゴン溶接)を学びたい作業者や管理者など

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
M941	6/27(土)・28(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	15,000円
M942	11/14(土)・15(日)					

コース概要

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、安全靴
※使い慣れた溶接面などあれば持参下さい。

ステンレス鋼のTIG溶接による溶接施工の業務において、知っておくと役に立つ知識や自身の目的に応じた溶接技能を習得できます。

※実習で使用する材料は、SUS304板材(板厚1.0～3.0mm)となります。

カリキュラム

- ①TIG溶接法と機器
- ②溶接欠陥の種類と注意点
- ③ステンレス鋼の溶接特性と施工法
- ④課題実習



使用機器

TIG溶接実習の様子▶

TIG溶接機 (パナソニック YC300BP4、ダイヘン WelbeeA350P)

～能力開発セミナー受講者の声～



実業務で使える知識が多く、今まで分からぬままやっていたことも、理解することができたので良かった。



実習を行い、体感することで、これまで身に付けた知識をより深めることができた。



説明してもらうことでより理解が深まった。ポイントを重点的に教えてくれるので頭に入りやすい。



日々の業務で扱うものが多く、1つ1つ時間をかけて自習はできなかったため、教えてもらうことができて理解が深まった。



このセミナーを受講するまで、基本的な操作方法を分からず、会社で指示された通りに動かすだけだったが、基礎から応用についてよく分かったので、自分の頭も整理され更に知識が身に付いた。

木造住宅における許容応力度設計技術

木質構造設計に関する基礎知識を有している方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H201	12/5(土)・6(日)	9:30～16:30	2日間	12時間	10名	11,500円

コース概要

木質構造設計の生産性の向上をめざして、適正化、安全性向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。

受講者の声

- 許容応力度計算の概要を理解できた。
- より、既存住宅に対して、深く向き合うことができそう。
- これまでの耐震設計、木造住宅の向き合い方に、全てのつながり、これからさらに向上出来ると感じました。

使用機器

関数電卓、パソコン

<現>	
階数	延床面積 200m ² 以下 200m ² 超500m ² 以下 500m ² 超
3以上	許容応力度計算 許容応力度計算 許容応力度計算
2	許容応力度計算 (荷重不取) 許容応力度計算 (荷重不取)
1	許容応力度計算 (荷重不取) 許容応力度計算 (荷重不取)
<新>	
階数	延床面積 200m ² 以下 200m ² 超300m ² 以下 300m ² 超
4以上	許容応力度計算 (ルート1) 許容応力度計算 (ルート2)
3	許容応力度計算 (ルート1) 許容応力度計算 (ルート2)
2	許容応力度計算 (ルート1) 許容応力度計算 (ルート2)
1	許容応力度計算 (荷重不取) 許容応力度計算 (荷重不取)

▲許容応力度の基準改正(※)
(※ 出典 <https://www.ncn-se.co.jp/se/column/6065>)

カリキュラム

- | | |
|--------------|------------|
| ①コース概要及び留意事項 | ④水平構面の設計実習 |
| ②荷重・外力 | ⑤部材の設計実習 |
| ③鉛直構面の設計実習 | ⑥まとめ |

▼許容応力度の計算の様子(※)



隅木・振垂木の施工実践技術

建築・構造部材加工(木材)に関する基礎知識を有している方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H321	9/19(土)・20(日)・21(月)	9:30～16:30	3日間	18時間	10名	12,000円

コース概要

建築・構造部材加工(木材)の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた隅木・振垂木の墨付け、加工組立て実習を通して、寄棟、入母屋等の隅木、振垂木の墨付・加工の技能及び技術を習得します。

受講者の声

- 初めての経験で、とても新鮮な気持ちでした。もっと色々な大工道具を使ってみたい。
- 難しかったが規矩術等学べて良かった。図面を持ち帰り確認したいと思います。
- 隅木の造り方、勾配など少しだけ解った気がします。

使用機器

木材一式、削り台、原寸図用ケント紙



▲展開図キャプチャ 課題サンプル▶

カリキュラム

- | | |
|--------------|------|
| ①コース概要及び留意事項 | ⑤墨付 |
| ②各種小屋組工法 | ⑥加工 |
| ③規矩術 | ⑦組立 |
| ④現寸図 | ⑧まとめ |



NEW

継手・仕口の製作実践技術

建築・構造部材加工(木材)に関する基礎知識を有している方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H331	11/21(土)・22(日)・23(月)	9:30～ 16:50	3日間	19時間	10名	11,000円

コース概要

建築・構造部材加工(木材)の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた継手・仕口の実践的な加工に必要な鑿(ノミ)・鋸(ノコギリ)・鉋(カンナ)の知識及び製作実習を通して、安全な作業姿勢と加工ポイント、問題点の把握と解決手法を習得します。

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②規矩用具の活用
- ③原寸図の概要説明
- ④継手・仕口の製作
- ⑤評価と問題解決
- ⑥まとめ



使用機器

木材一式

壁装施工の実践技術

壁装施工について学びたい方、興味のある方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H351	10/10(土)・11(日)・12(月)	9:30～ 16:30	3日間	18時間	10名	15,000円

コース概要

建築物における壁装作業の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた各種壁紙を用いた壁装仕上げ作業に関する知識及び技能・技術を習得します。

カリキュラム

- ①壁紙施工の概要
- ②施工のポイント
- ③施工実習

受講者の声

- 技能、実施で理解できた。教え方が上手だった。
- 見る機会はあったものの、自分で施工したことがなかった。
- クロスやピータイルの施行を知る事が出来た。
- 講師の先生が分かりやすくポイントを教えて下さり、これから仕事や自宅で活用出来ると思います(クロス修理)。
- 今までできなかつた事ができるようになったから。
- 実際の施工作業を本職の方に指導されつつ学習することで実践的なテクニックが身についた。

使用機器

壁装施工用道具、機器類

壁装施工の実演風景▶



木造住宅における壁量計算技術

木造の壁量計算を学びたい住宅営業、住宅設計関係の方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H501	6/9(火)・10(水)	9:30～16:30	2日間	12時間	10名	7,500円

コース概要

持参品

筆記用具

カリキュラム

- ①壁量設計技術 ③接合部の設計技術
②耐力壁のバランス検定技術 ④性能表示による設計技術

受講者の声

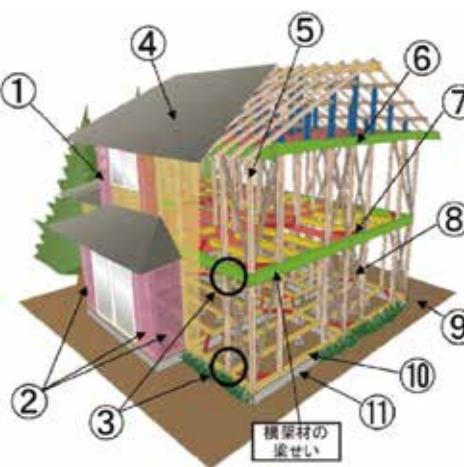
- 詳しい知識が得られました。
- 耐力壁のバランスの良い考え方や計算の仕方を学べた。
- 住宅の構造計算について少し理解が深まりました。

建築基準法の適用対象▶

(出典 <https://manabou.homeskun.com/kouzou/kijunhou/shiyou-kijun/>)

使用機器

関数電卓



- ① 壁量の確保(壁量計算)
〔令46条、昭56建告第1100号〕
② 壁配置のバランス(4分割法)
〔令46条、平12建告第1352号、品確法〕
③ 継手又は仕口の選択(N値計算)
〔令47条、平12建告第1460号、品確法〕
④ 屋根ふき材等の繋結
〔令39条〕
⑤ 柱の小怪の確保
〔令43条〕
⑥ 横架材の欠き込み
〔令44条〕
⑦ 火打材等の設置
〔令46条〕
⑧ 節かいの仕様
〔令45条〕
⑨ 部材の品質と耐久性の確認
〔令37条、令41条、令49条〕
⑩ 土台と基礎の繋結
〔令42条〕
⑪ 基礎の仕様
〔令38条、平12建告第1347号〕

積算実践技術

積算手法を学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H511	9/8(火)・9(水)・10(木)	9:30～16:30	3日間	18時間	10名	10,500円

コース概要

持参品

筆記用具

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項 ⑤仕上げの積算
②建築積算の概要 ⑥集計・見積書
③土工事積算 ⑦まとめ
④躯体の積算

受講者の声

- 作業の流れを知れた。深く知ろうというきっかけとなった。
- 積算の基本的な流れや数量算出方法を学び、建設業務に必要な知識と技能を身につけることができました。
- 公共工事の積算方法を知れた。
- 間違っていた知識を正しく理解する良い機会となりました。
- 躯体の積算が苦手でしたが、分かりやすく解説して下さったので、理解が深まりました。
- 拾い出しについて自分のやり方と違う方法を学ぶ事ができ、仕事の幅が広くなりました。

使用機器

関数電卓

積算実習で用いる各種資料▶



コース案内

機械

溶接

建築

電気

木造住宅の架構設計技術

木質構造設計に関する基礎知識を有している方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H521	11/7(土)・8(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	7,500円

コース概要

木造住宅の生産性の向上をめざして、施工時の効率化や安全性向上に向けた建築物の構造計画、構造安定性を確保した架構設計に必要な知識を理解するとともに構造図の作成を通して、架構設計ができる技能・技術を習得します。

受講者の声

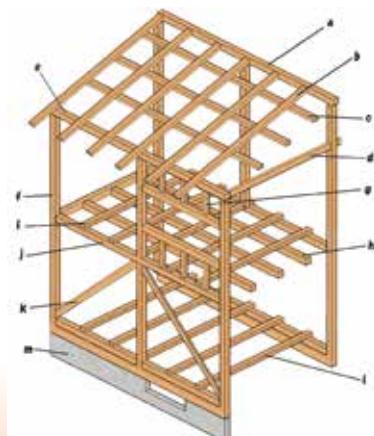
- 木造住宅の架構技術の習得に役立った。
- 図面のない建物を取り扱う中で、既存の建物の構造を想定で読み取る必要が多々あり、その中で、限られた情報の中で検討するのに非常に役立てそう。
- リフォームにおける耐震設計、既存住宅にも向き合える有効な技術をお教え頂きました。

使用機器

関数電卓、パソコン

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②架構設計の概要
- ③直下率チェック
- ④事故事例分析
- ⑤間取りと構造計画からみた架構設計
- ⑥構造図作成と架構チェック
- ⑦まとめ



(出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki/木造軸組構法>)

インテリアパース作成実践技術

建築図面の知識を有し、インテリアパースを学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H631	2/2(火)・3(水)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	9,000円

コース概要

持参品 筆記用具

住宅提案における意匠設計の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた実務的なパース作成実習を通して、設計段階における効果的なプレゼンテーション手法や住宅インテリアパース作成の実践的な技術を習得します。

カリキュラム

- ①インテリアパースの概要
- ②グリット下敷き作成
- ③簡略一消点図法の演習
- ④着彩について
- ⑤課題の作成

受講者の声

- 今まで理解できていなかったことが理解できた。
- 大変分かりやすく丁寧に教えていただきました。ただ自分の力不足で完成に至れなかったのが悔やまれます。
- 上司への提案、お客様への提案に活かせると思う
- とても有意義な講座でした。パースを描くまでに時間がかかってしまい、大切であるはずの着色を適当にしてしまった。
- パースについてはとにかく描いて感覚をつかんで素早くおこせるようにしようと思う。

使用機器

内観パースイメージ▶

製図板、製図道具、色鉛筆



住宅の色彩計画実践技術(イメージ分析活用)

インテリアの色彩計画について学びたい方、興味のある方

NEW

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H641	2/16(火)・17(水)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

持参品

筆記用具、インテリアイメージ写真

住宅計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画実習を通して、計画段階における色彩計画の知識を身に付けて住宅における色彩計画技術を習得します。

受講者の声

- ※旧類似コース「住宅の色彩計画実践技術(建築のイメージスケール分析)」(H621)の受講者の声
- お客様のイメージを明確化する際に用いることができる感じた。
 - お客様へのプレゼン資料として見た目で分かりやすい。
 - 色を理論で理解することができた。アイデアを色々教えてもらえた。
 - インテリアコーディネーターの資格取得後の実務的な内容を習得できたから。
 - 仕事に活かせる内容だったり、自分の好みを深く知る良い機会でした。

使用機器

配色カード、プレゼンテーションボード、パソコン

カリキュラム

- ①イメージスケールについて
- ②カラーについて
- ③インテリアイメージ
- ④イメージ分析
- ⑤課題実習



イメージ提案ボードの事例▶

BIMを用いた建築設計技術

NEW

建築関連業務に従事し、BIMソフトを学びたい方またはご興味のある方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H705	9/16(水)・17(木)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	11,000円

コース概要

持参品

筆記用具

建築設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設計実習を通して、BIMを用いた建築設計に関する技術を習得します。

受講者の声

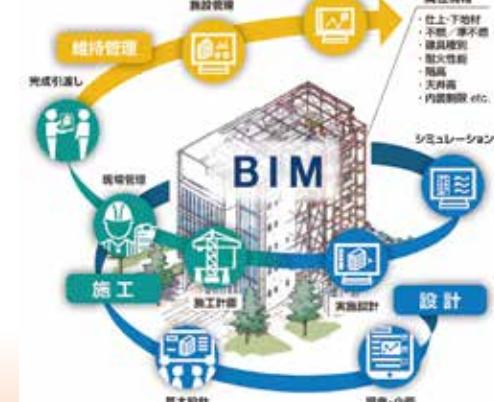
- ※旧類似コース「BIMを用いた建築生産設計技術」(H701)の受講者の声
- BIMの導入に向けて自信が深まった。
 - BIMのソフトに初めて触れることができ、知識を得ることができた。
 - BIMを使った設計業務を理解することができた。
 - わかり始めると、各図面の修正が1度に反映されることや、モデリングしたものからパース作りもできるということは、業務効率が上がるうえに、施主様にとってもメリットは大きいと感じた。

使用機器

パソコン、BIMソフト(Revit)

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②BIMの活用方法
- ③建築設計実習
- ④作成データの活用



BIMの活用イメージ▶

(出典 <https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001351969.pdf>)

コース案内

機械

溶接

建築

電気

建設業の安全衛生管理

安全管理に関する基礎知識がある方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H731	5/16(土)・17(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	7,000円
コース概要		持参品	筆記用具			

建設業の現場作業における生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた安全衛生知識の確認を通して、法令に適した安全作業現場を構築する知識、技術を習得します。

受講者の声

- 会社の安全衛生管理体制の構築の為の考え方が理解できた。

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②災害防止の知識
- ③建設業の安全衛生実務一般
- ④工事別安全衛生管理
- ⑤まとめ



クレーン作業の危険予知活動(KYK)▶

省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術

省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画に興味のある方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H822	10/24(土)・25(日)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	8,000円
コース概要		持参品	筆記用具			

建築設計において生産性の向上をめざして、最適化(改善)に向けた低炭素建築物の新築計画を通して建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準を理解し建築計画手法を習得します。

受講者の声

- 根本的な理解につながった。
- これからの省エネの話を聞けたので勉強になりました。
- 一次エネルギーについて、これからの時代にマッチングした環境にも配慮した知識、大変勉強になりました。

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②見直し基準の概要
- ③住宅の省エネルギー基準
- ④仕様基準
- ⑤低炭素建築物の建築計画



省エネ住宅の計画で用いる試料▶

使用機器

パソコン

実践建築設計3次元CAD技術

建築設計に関する基礎知識を有している方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H834	7/8(水)・9(木)	9:30～16:30	2日間	12時間	10名	7,500円
H835	1/23(土)・24(日)	持参品	筆記用具			

コース概要

建築設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して、3次元CADを用いた意匠設計に関する技術を習得します。

受講者の声

- 独学では学ぶことができない内容を分かりやすく教えて頂けた。
- 内容はとても分かりやすく、初心者でも理解しやすい説明で非常に良かったです。
- 平面データをJWWに出力する事を初めて出来た。また、掘りゴタツ、ステップフロアも参考になった。
- 項目の選択を適当にしていたが、意味を知ることができた。
- 基礎から応用(ショートカットキー等)がよく分かったので、自分の頭も整理され更に知識が身に付いた。
- 講師の方が大変優しく授業外での質問に答えてくれたり、ついていけない人がいたら待ってくれたりした。

使用機器

3Dマイホームデザイナーによる外観事例▶

パソコン、ソフトウェア(3DマイホームデザイナーPRO)

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ④各部材等の入力
- ②設計条件の設定
- ⑤提案書の作成
- ③構想とエスキス
- ⑥まとめ



※マイホームデザイナーはメガソフト(株)の登録商標です。

実践建築設計2次元CAD技術(利用編 Type A)

2次元CAD(Jw_cad)の各種コマンド操作から学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H844	5/27(水)・28(木)	9:30～16:30	2日間	12時間	10名	7,500円
H845	11/10(火)・12(木)・17(火)・19(木)	※開始時刻ご注意下さい。 18:00～21:00	4日間			

コース概要

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

受講者の声

- 今後の業務に活かすことができる点が多かった。
- 安価な受講料で、役に立つ知識が身につき、参加して良かったです。
- 仕事に使えるので、スキルが上がる。
- 独学でJw_CADを使用していたが、知らなかった操作を身につけることができた。
- 普段使用していないものも理解でき、時間短縮できると思ったので受講して良かった。

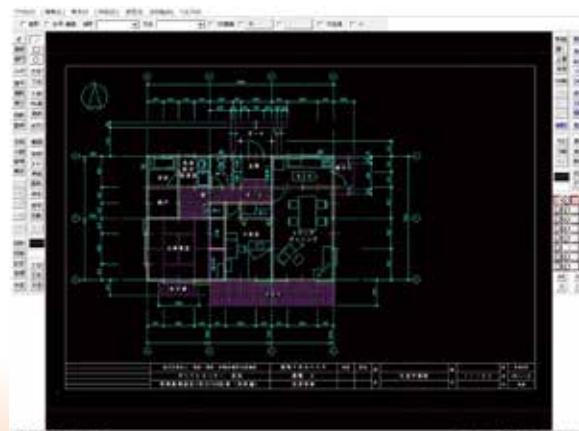
使用機器

Jw_cadで描く住宅平面図▶

パソコン、2次元CAD(Jw_cad)

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ④種々の図面の構築手法
- ②作図コマンド概要
- ⑤図面作成実習
- ③建築一般図と詳細図
- ⑥まとめ



コース案内

機械

溶接

建築

電気

実践建築設計2次元CAD技術(活用編)

2次元CAD(Jw_cad)の各種コマンド操作ができる方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H854	6/16(火)・17(水)・18(木)	9:30~16:30	3日間		10名	11,000円
H855	12/1(火)・3(木)・8(火)・10(木)・15(火)・17(木)	18:00~21:00	6日間	18時間	10名	11,000円

コース概要

持参品 筆記用具

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

受講者の声

- Jw_cadの効率化をするうえで、必要のある知識、コツを学べた。
- 図面の作成、編集にかかる時間が短縮できそうでよかったです。
- 作業効率を高められるような指導を受けられた。部下に指導ができると感じた。
- 受講者の質問に対しての受け答えが良かった。また機会があれば受講したいと思いました。勉強になりました。
- JWCADはまったく扱えなかった為、仕事で扱える程の知識が業務に役立てると思った。
- JWCADを初めて扱うのに活用編で来てしまったにも関わらず、丁寧に教えて下さり、本当にありがとうございました。

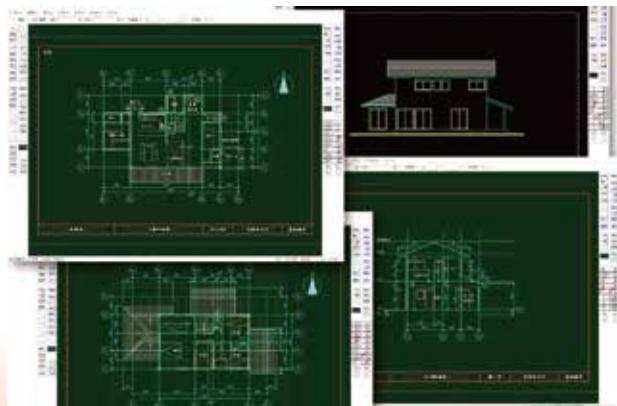
使用機器

Jw_cadで描く住宅の平面図・断面図・立面図▶

パソコン、2次元CAD(Jw_cad)

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②建築一般図と詳細図
- ③種々の図面の構築手法
- ④図面作成実習
- ⑤まとめ



実践建築設計2次元CAD技術(利用編 Type B)

2次元CAD(Auto CAD)の各種コマンド操作から学びたい方

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
H874	7/29(水)・30(木)	9:30~16:30	2日間	12時間	10名	7,500円
H875	1/26(火)・27(水)					

コース概要

持参品 筆記用具

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

受講者の声

- 今まで見よう見まねでしたので、今回を機に1つ1つ詳しく知ることができて、仕事が効率よくできそう。
- 独学で不明であった点が理解できた。
- CAD経験が1年未満の為、非常に勉強になった。
- 今後の仕事に役に立った。
- 新しく仕事に使えそうで、勉強になりました。

使用機器

AutoCADを用いた住宅平面図▶
(出典 <https://www.photo-ac.com/>)

パソコン、2次元CAD(Auto CAD)

カリキュラム

- ①コース概要及び留意事項
- ②作図コマンド概要
- ③建築一般図と詳細図
- ④種々の図面の構築手法
- ⑤図面作成実習
- ⑥まとめ



※AutoCADはオートデスク(株)の登録商標です。

有接点シーケンス制御の実践技術

生産設備の設計・施工に関する業務に従事する技能・技術者等であって、有接点シーケンス制御を習得したい方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E105	5/14(木)・15(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,000円
E106	8/26(水)・27(木)					

コース概要

有接点シーケンス制御の制御機器、図面の読み方を学び、課題製作を通して有接点シーケンス制御回路製作の実務能力を習得します。

受講者の声

- 新しい設備を導入する際に、フェイルセーフ、フループルーフを念頭に置いておきたいと思いました。
- 基礎的なところから丁寧に教えて頂けた。
- 知らないかった知識が身についてよかったです。
- 部下などに具体的に指導が出来る様になった。
- 自動化機械のメンテナンスに役立つ。
- 何となく理解していたが、今回のセミナーで意味を知ることができた。

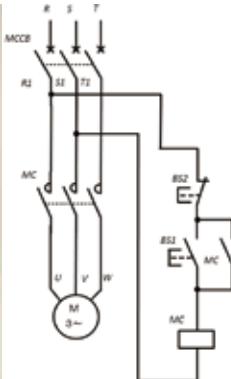
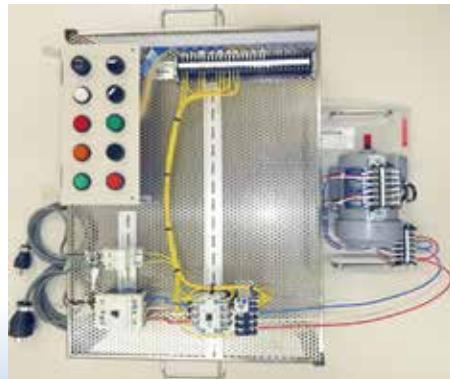
使用機器

電動機の直入れ運転の配線▶

電磁接触器、電磁繼電器、タイマー、スイッチ、表示灯、テスター、工具 他

カリキュラム

- ①各種制御機器の種類と選定方法
- ②主回路と制御回路
- ③有接点シーケンス制御回路製作実習



電気設備のための計測技術

電気設備工事・設備保守管理に従事する技能・技術者等であって、電気の基本から測定器の使い方を習得したい方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E160	9/10(木)・11(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	8,000円

コース概要

電気の基本から、測定器（テスター等）の使い方を測定実習を通して習得します。

カリキュラム

①電気測定 ②測定器の使い方 ③測定実習



受講者の声

- 現場で気になっていた事が習えた
- テスター・デルタ回路についての詳細が理解できた。
- それぞれ別々の目的意識がある為、講師への質問を通して、普段気にならない良い刺激を受けることが出来た。
- 仕事上で使える新たな知識を得た。
- 今回講師の先生がすごく誠実で解りやすい説明をして頂き、大変有意義なセミナーでした。

使用機器

テスター・検電器▶

テスター、検電器、絶縁抵抗計、接地抵抗計、他

PLCプログラミング技術

NEW

生産設備の設計・施工に関する業務に従事する方でPLCプログラミング技術を習得したい方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E301	7/9(木)・10(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,000円
E302	10/8(木)・9(金)					

コース概要

PLC（プログラマブルコントローラ）の概要および回路（ラダー図）の作成方法などの実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

カリキュラム

①自動化におけるPLC ③自動制御システム制作実習
②プログラム設計



使用機器

PLC（三菱電機製）、プログラミングツール（三菱電機製）、負荷装置

PLC制御の応用技術

NEW

「PLCプログラミング技術」(E301・E302)または「実践的PLC制御技術」(E310)を受講された方、または同等の知識をお持ちの方の方向けのコースとなります。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E305	7/22(水)・23(木)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,000円
E306	10/22(木)・23(金)					

コース概要

PLC(プログラマブルコントローラ)を用いたデータの取り扱いや各種応用命令について学び、制御プログラムの応用技術を習得します。



カリキュラム

- ①PLCの概要
- ②PLCで取り扱うデータについて(2進数、16進数、2進化10進数等)
- ③応用命令(転送命令、四則演算命令、比較演算命令等)
- ④総合実習



使用機器

PLC(三菱電機製)、プログラミングツール(三菱電機製)、負荷装置

実践的PLC制御技術

生産設備の設計・施工に関する業務に従事する技能・技術者等であって、PLCに関する実践的技術を習得したい方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E310	11/5(木)・6(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

PLCの概要、構成及び選定等の知識ならびに、PLCの入出力配線及びプログラムの作成・変更に関する実践的技術を習得します。

カリキュラム

- ①PLCの概要、用途
- ②PLCの構成、選定
- ③入出力機器の割付・配線
- ④プログラムの作成・変更
- ⑤負荷装置を用いた制御実習



受講者の声

- 既存のラダー図の読み方、理解につながる。
- 実務と関連したお話をあり分かりやすかった。
- 専門分野以外の知識が身についた。
- ラダー図の組み方、PLCの操作法が身についた。
- PLCの動作原理とラダープログラムについて実習を交え、具体的に学ぶことができた。
- 回路といった、回路の動作、名称を知れてよかったです。

使用機器

PLC本体(左下)とコンベア負荷装置▶

PLC(三菱電機製)、プログラミングツール(三菱電機製)、負荷装置

コース案内

機械

溶接

建築

電気

PLCによるタッチパネル活用技術

「PLCプログラミング技術」(E301・E302)または「実践的PLC制御技術」(E310)を受講された方、または同等の知識をお持ちの方向けのコースとなります。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E311	12/3(木)・4(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

持参品

筆記用具、作業しやすい服装

タッチパネルの概要、画面構成および動作モニタ等の知識ならびに、PLCとタッチパネルの接続および活用に関する実践的技術を習得します。

受講者の声

- 実習をメインに講義頂いたことで具体的にタッチパネルでできることが良く理解できました。
- 整備トラブルや新規、更新などに役に立ちそうです。
- タッチパネルの接続がどういうしくみか変わらなかつたが、実習を通して整理できた。
- ライン製造での作業を行っているため、工程内の作業でためになると感じた。
- GOT画面でのSW作成で、作業の簡略化やトラブル防止へつなげられる。
- ほぼ独学で得た知識で画面作成などしていましたが、知らない基本的なことを多く学べました。

使用機器

作成プログラムによるタッチパネル動作テスト▶

タッチパネル(三菱電機製)、PLC(三菱電機製)、プログラミングツール(三菱電機製)、負荷装置

カリキュラム

- ①タッチパネルの概要、用途
- ②タッチパネルの画面設計(画面作成、デバイス設定、PLCのプログラム作成)
- ③負荷装置を用いた制御実習



組込み技術者のためのプログラミング(配列・関数編)

C言語の必須事項を習得したい方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E501	11/17(火)・18(水)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

持参品

筆記用具

組込みシステムにおけるプログラム開発に必要となるC言語の必須事項(型、変数、演算子、制御文、配列および関数)に関する知識や技術を、プログラミング実習を通して習得します。

```
1 #include <stdio.h>
2
3 int sum3( int num1, int num2 ) {
4
5     int main( void ) {
6
7         int num1 = 4;
8         int num2 = 5;
9
10        printf( "%d + %d = %d\n", num1, num2, sum3(num1, num2) );
11        return 0;
12    }
13
14    int sum3( int num1, int num2 ) {
15        return num1 + num2;
16    }
17
18    /* end of file */
19
20 }
```

▲C言語の関数呼び出し事例

カリキュラム

- ①開発環境の解説
- ②プログラミング実習
(型、変数、演算子、制御文、配列、関数)



使用機器

パソコン外観事例▶

パソコン、テキストエディタ

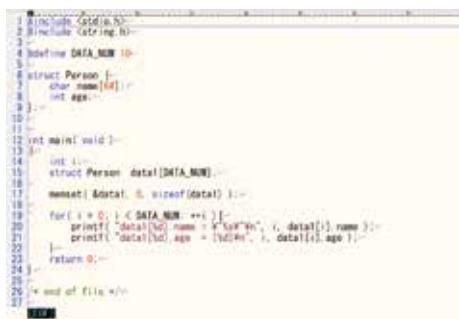
組込み技術者のためのプログラミング(ポインタ・構造体編)

「組込み技術者のためのプログラミング(配列・関数編)」(E501)を受講された方、または同等の知識をお持ちの方向けのコースとなります。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E505	11/19(木)・20(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

組込みシステムにおけるプログラム開発に必要となるC言語の必須事項(ポインタ、構造体および共用体)に関する知識や技術をプログラミング実習を通して習得します。「組込み技術者のためのプログラミング(配列・関数編)」(E501)を受講されていない方は教材の購入をお願いします。



```
1 #include <stdio.h>
2 #include <string.h>
3
4 #define DATA_NUM 10
5
6 struct Person {
7     char name[10];
8     int age;
9 };
10
11
12 int main(void) {
13     int i;
14     struct Person data[DATA_NUM];
15
16     memset(&data, 0, sizeof(data));
17
18     for (i = 0; i < DATA_NUM; ++i) {
19         printf("data[%d].name = %s\n", i, data[i].name);
20         printf("data[%d].age = %d\n", i, data[i].age);
21     }
22
23     return 0;
24 }
25
26 /* end of file */
```

使用機器

パソコン、テキストエディタ

持参品

筆記用具

カリキュラム

- ①開発環境の解説
- ②プログラミング実習(ポインタ、構造体、共用体)



製造現場におけるLAN活用技術

NEW

ネットワーク構築に従事されている方またはこれから従事される方におすすめのコースです。

コース番号	日 程	実施時間	訓練日数	訓練時間	定 員	受講料
E510	1/14(木)・15(金)	9:30～ 16:30	2日間	12時間	10名	10,500円

コース概要

LANの活用に必要なプロトコル(Ethernet、TCP/IP)に関する知識やLANに接続する機器のネットワーク設定やトラブル時の対応に必要なコマンド操作方法をネットワーク機器(ブロードバンドルータ)を用いたLAN構築の実習を通して習得します。

持参品

筆記用具

カリキュラム

- ①ネットワーク概要
- ②プロトコル概要と設定
- ③ネットワーク機器の役割と設定
- ④LAN構築実習



使用機器

パソコン、ブロードバンドルータ 他

ネットワークの
仕組みがわかる！

コース案内

機械

溶接

建築

電気

生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業・事業主団体の生産性を向上させるための職業訓練です。

ポリテクセンター奈良に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的な知見とノウハウを持つ民間機関等に委託し、ものづくり分野だけでなく、あらゆる業種の中小企業等の課題やニーズにあわせ、さまざまな内容・分野の幅広い職務階層の方を対象としたカリキュラムで、従業員の労働生産性向上をお手伝いします。

能力開発セミナーと併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。

生産性向上支援訓練とは

目的	組織の生産性向上に係る課題解決のための知識や技能・技術を習得することを目的としています。
訓練内容	流通、物流、IoT、クラウド、マーケティング等、企業の生産性の向上に効果的な管理・改善やその技法に関する訓練です。
対象者	法人からの指示により受講される方(個人での受講はできません。)
講師	専門的な技能やノウハウを持つ民間機関等が訓練を担当します。
日程・時間	訓練時間は、6時間～30時間の間で、ご要望に合わせて設定できます。
会場	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます。
定員	6名～30名を標準とします。
受講料	訓練時間に応じて、1人あたり2,200円(税込)～6,600円(税込)です。

- 生産性や品質管理について学びたい。
- 業務プロセスを改善して効率性を高めたい。
- RPA・DX等の新技術を導入・活用したい。

- 従業員の仕事の効率化を促進したい。
- プロジェクトの管理手法を学びたい。
- 中堅・ベテラン従業員の持つ技術やノウハウを後輩の従業員に継承させたい。

- 顧客の拡大や満足度の向上を図りたい。
- マーケティングや戦略について学びたい。
- 新しい企画や開発について学びたい。

- データ処理の作業を効率化したい。
- データを業務改善に活用したい。
- 集客につながるHPを作成したい。

生産・業務プロセスの改善

- 生産現場の問題解決
- 品質管理基本/実践
- 在庫管理システムの導入
- DXの導入 など

横断的課題

- 職場のリーダーに求められる統率力の向上
- 効果的なOJTを実施するための指導法 など

売上げ増加

- 提案型営業手法/実践
- インターネットマーケティングの活用 など

IT業務改善

- 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
- 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化など

※上記のほか、企業・団体の生産性向上に関する様々な課題の解決や現場力の強化に関するカリキュラムをご用意しています。
※各カリキュラムについては生産性センターのホームページをご覧ください。

お問合せ

ポリテクセンター奈良 生産性センター業務課

TEL 0744-22-5101 FAX 0744-22-6744
E-mail : nara-seisan@jeed.go.jp

■生産性センターの
ご案内ページへ▶



生産性向上支援訓練コース一覧(全134コース)

A 生産・業務プロセスの改善	B 横断的課題	C 売上げ増加
<p>■生産管理(12コース)</p> <p>1 ものづくりの仕事のしくみと生産性向上 2 生産性分析と向上 3 生産現場の問題解決 4 生産性向上のための課題とラインバランスング 5 生産計画と工程管理 6 サービス業におけるIE活用 7 製造分野におけるDX推進 8 原価管理とコストダウン 9 在庫管理システムの導入 10 在庫管理の進め方 11 購買・仕入れのコスト削減 12 POSシステムの活用技術</p> <p>■品質保証・管理(3コース)</p> <p>13 品質管理基本 14 品質管理実践 15 サービスマネジメントによる品質改善と向上</p> <p>■流通・物流(6コース)</p> <p>16 3PLとSCM 17 物流のIT化 18 流通システム設計 19 物流システム設計 20 卸売業・サービス業の販売戦略 21 SCMの現状と将来展望</p> <p>■バックオフィス(27コース)</p> <p>22 クラウド活用入門 23 IoT活用によるビジネス展開 24 クラウドを活用したシステム導入 25 IoT導入に係る情報セキュリティ 26 クラウドを活用した情報共有能力の拡充 27 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用 28 テレワークを活用した業務効率化 29 テレワーク活用 30 経理業務の効率化につながるDXの実践 31 ITツールを活用した業務改善 32 データ活用で進める業務連携 33 失敗しない社内システム導入 34 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解 35 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント 36 DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入 37 ベンダーマネジメントの向上 38 IT新技術による業務改善 39 AI(人工知能)活用 40 生成AIの活用 41 ビッグデータ活用 42 RPAを活用した業務効率化・コスト削減 43 RPA活用 44 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 45 データサイエンス入門 46 GX(グリーントランスフォーメーション)の推進 47 Pythonを活用した事務業務の効率化 48 企業価値を上げるための財務管理</p>	<p>■組織マネジメント(31コース)</p> <p>49 IoTを活用したビジネスモデル 50 ダイバーシティ・マネジメントの推進 51 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合 52 事故をなくす安全衛生活動 53 個人情報保護と情報管理 54 高年齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築 55 リスクマネジメントによる損失防止対策 56 災害時のリスク管理と事業継続計画 57 eビジネスにおけるリーガルリスク 58 ネット炎上時のトラブル対応 59 ナレッジマネジメント 60 知的財産権トラブルへの対応(1) 61 知的財産権トラブルへの対応(2) 62 現場社員のための組織行動力向上 63 業務効率向上のための時間管理 64 顧客満足度向上のための組織マネジメント 65 企画力向上のための論理的思考法 66 成果を上げる業務改善 67 組織力強化のための管理 68 職場のリーダーに求められる統率力の向上 69 管理者のための問題解決力向上 70 プロジェクト管理技法の向上 71 プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理 72 継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割 73 従業員満足度の向上 74 ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上 75 ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善 76 テレワーク業務における労務管理 77 DX人材育成の進め方 78 物流現場のリーダー育成 79 ファシリテーションを活用した合意形成の効率化</p> <p>■生涯キャリア形成(17コース)</p> <p>80 中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成 81 チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割 82 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割 83 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法 84 SNSを活用した相談・助言・指導 85 フォロワーシップによる組織力の向上 86 経験を活かした職場の安全確保(未然防止編) 87 経験を活かした職場の安全確保(対策編) 88 クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有 89 職業能力の整理とノウハウの継承 90 職業能力の体系化と人材育成の進め方 91 経験に基づく営業活動の見える化と継承 92 効果的なOJTを実施するための指導法 93 ノウハウの継承のための研修講師の育成 94 作業手順の作成によるノウハウの継承 95 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動(実施編) 96 若手従業員に気づきを与える安全衛生活動(点検編)</p>	<p>■営業・販売(8コース)</p> <p>97 提案型営業手法 98 ビジネス現場における交渉力 99 提案型営業実践 100 マーケティング志向の営業活動の分析と改善 101 統計データ解析とコンセプトメイキング 102 オンライン営業技術 103 顧客分析手法 104 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析</p> <p>■マーケティング(5コース)</p> <p>105 実務に基づくマーケティング入門 106 マーケティング戦略概論 107 マーケット情報とマーケティング計画(調査編) 108 マーケット情報とマーケティング計画(販売編) 109 インターネットマーケティングの活用</p> <p>■企画・価格(2コース)</p> <p>110 製品・市場戦略 111 新サービス・商品開発の基本プロセス</p> <p>■プロモーション(2コース)</p> <p>112 プロモーションとチャネル戦略 113 チャンスをつかむインターネットビジネス</p>
		D IT業務改善
		<p>■ネットワーク(2コース)</p> <p>114 ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ 115 社内ネットワークに役立つ管理手法</p> <p>■データ活用(12コース)</p> <p>116 表計算ソフトを活用した業務改善 117 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 118 表計算ソフトを活用した効率的なデータの可視化 119 効率よく分析するためのデータ集計 120 ピボットテーブルを活用したデータ分析 121 品質管理に役立つグラフ活用 122 表計算ソフトを活用した統計データ解析 123 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 124 データベースを活用したデータ処理(基本編) 125 データベースを活用したデータ処理(応用編) 126 データベースを活用した高度なデータ処理 127 業務効率を向上させるワープロソフト活用</p> <p>■情報発信(4コース)</p> <p>128 相手に伝わるプレゼン資料作成 129 集客につなげるホームページ作成 130 SNSを活用した情報発信 131 オンラインプレゼンテーション技術</p> <p>■倫理・セキュリティ(3コース)</p> <p>132 齊威情報とセキュリティ対策 133 情報漏えいの原因と対応・対策 134 テレワークに対応したセキュリティ対策</p>

※各コースの詳細(カリキュラム)はHP(ポリテクセンター奈良)に掲載しています。

※研修後にアンケートのご協力をお願いしています(受講者および事業主の方)。

さらなるスキルアップを
目指すなら！

高度ポリテクセンター



高度ポリテクセンターは、職業能力開発支援業務における先導的な役割を担う施設として、全国の企業等を対象とした年間700コース以上の豊富な在職者訓練を実施している施設です。

人気コースの例

- 5軸制御マシニングセンタによる加工技術
- 見て触って理解する金型技術
- 生産現場の機械保全技術
- 金属材料の腐食対策
- 設計者CAEを活用した伝熱・熱応用解析

- ロボットシステム設計技術
- 実習で学ぶ生成AIと実践的RAGアプリケーション開発
- マイコン制御システム開発技術
- 実習で学ぶ漏電診断技術
- HDLによるLSI開発技術

※詳しくは、公式サイトをご覧ください。

充実した実習環境



射出成形機・プレス加工機



5軸マシニングセンタ



産業用ロボット・協働ロボット



組込み・AI開発環境



油圧・空気圧機器類

お問合せ先

高度ポリテクセンター

〒 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
043-296-2582
kodo-poly02@eed.go.jp



公式サイト

高度ポリテクセンターって
どうなってる？



紹介ページ

2026 年度 能力開発セミナー
受講者変更・取消届

過日、申込済の能力開発セミナーについて、以下のとおり □変更・□取消 いたします。 (該当するいずれかに□)

コース番号	コース名	開講日 (初日)	月 日
-------	------	-------------	--------

▼ 申込済受講者

申込済受講者	ふりがな	現住所	〒 -
	氏名		
法人名	事業所名		

▼ 変更後受講者 (申込済受講者と同一の項目については記載不要です)

新規受講者	ふりがな	現住所	〒 -			
	氏名 (生年月日) (西暦 年 月 日生)					
就業状況 (該当するいずれかに□)		□正社員	□非正規雇用			
※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。		□その他自営業等				
法人名	事業所名					
法人所在地	〒 -		申込担当者名			
TEL	—	FAX	—			
MAIL						
受講区分	該当するいずれかに□	□会社からの指示による受講	□個人での自己受講			
	書類送付先に□	□法人(会社)の所在地	□受講者の現住所			
※ 受講区分の「会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力ををお願いしております。						
訓練に関連する経験・技能等						
※ 訓練を進めるまでの参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入下さい。(例:切削加工の作業に約5年間従事)						
(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談下さい。						

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成 15 年法律第 57 号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しない場合は右欄にチェックを入れてください。□希望しない

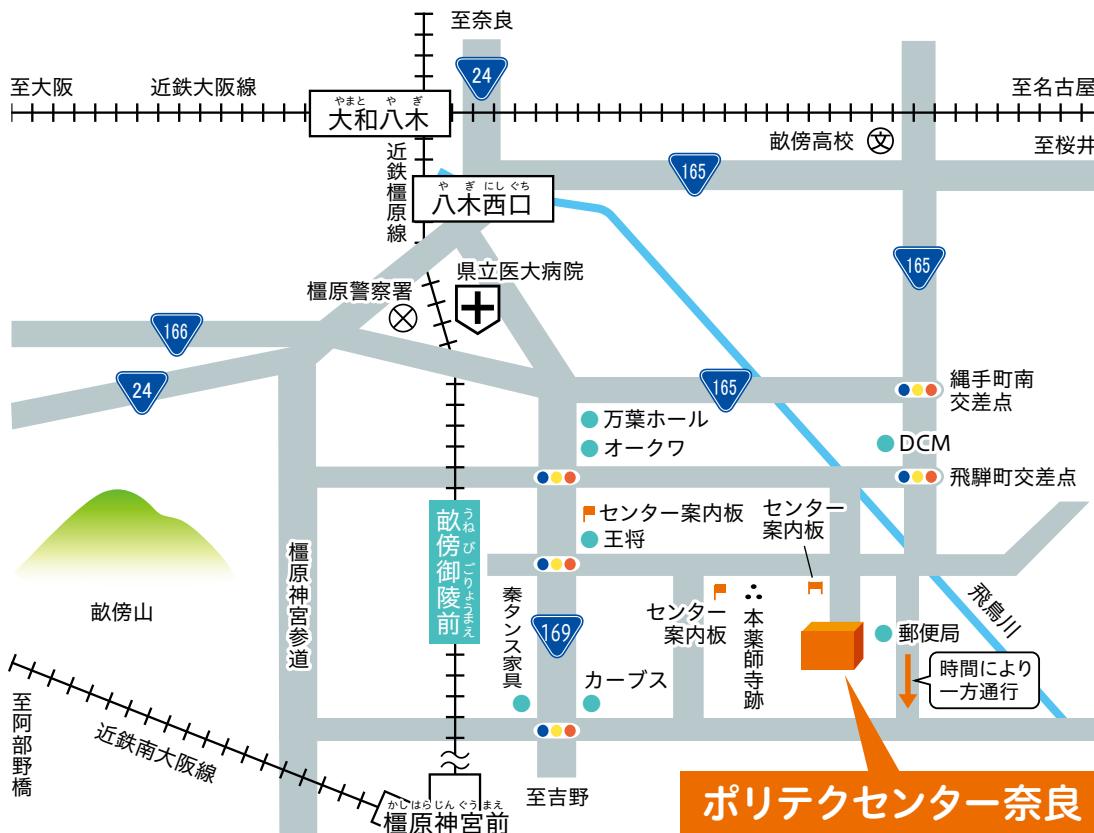
FAX (0744-22-6744) または電子メール (nara-poly02@jeed.go.jp) に添付

〒634-0033 奈良県橿原市城殿町433 電話0744-22-5226

※ 本紙が到着後、受講の可否について返信します。3業務日(平日)以内に返信がない場合は、お手数ですが電話にてお問い合わせをお願いします。(平日月~金 8時45分~17時)

申込先

アクセスマップ



アクセス 方法



公共交通機関でお越しの方

うね び ご りょうまえ
近鉄「畝傍御陵前」駅下車 徒歩約12分



 お車でお越しの方(無料駐車場完備)

うね び ご りょうまえ
国道169号線畠傍御陵前駅前の信号を東へ500m

主な交通経路と所要時間

※各所要時間は乗り換え時間を含まない、最速所要時間となります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
奈良支部
奈良職業能力開発促進センター
ポリテクセンター奈良
〒634-0033 奈良県橿原市城殿町433

お問合せ先（訓練課）

0744-22-5226



記載の内容については予告なく変更する場合があります。

▶ <https://www3.jeed.go.jp/nara/poly/> ポリテク奈良

検索 